

# パソコンマスター講座

図形機能でイラスト作成！

ネコ・チューリップのバースデーカード

(Word 2010 版)

---

## 目次

はじめに.....	1
1. このレッスンで行うこと.....	1
2. テキストを使う際のご注意.....	1
<b>1. 準備.....</b>	<b>2</b>
<b>2. 作画の基本.....</b>	<b>4</b>
① 図形を描く.....	4
② 大きさや形、傾きを変える.....	4
③ 枠線.....	5
④ 塗りつぶし.....	6
⑤ 重なり.....	8
⑥ グループ化.....	8
<b>3. ネコを描いてみよう.....</b>	<b>10</b>
(1) 頭部を描く.....	10
① 顔の部分を描く.....	11
② 耳を描く.....	12
③ 目を描く.....	15
④ 鼻先を描く.....	16
⑤ 縞模様を描く.....	17
⑥ ほっぺの赤みを描く.....	19
(2) 胴体を描く.....	20
① 胴体.....	20
② 腕と足を描く.....	21
③ しっぽを描く.....	23
(3) 顔と胴体にグラデーションをつける.....	24
(4) 首輪と鈴.....	26
(5) 魚.....	29
<b>4. チューリップのバースデーカード.....</b>	<b>31</b>
(1) チューリップ・花.....	31
(2) チューリップ・葉と茎.....	37
(3) チューリップ・花束.....	40
(4) バースデーカード.....	45

---

Microsoft、Microsoft ロゴ、Internet Explorer、Windows、Windows XP、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。

その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です

## はじめに

### 1. このレッスンで行うこと・・・

今回は、ワープロソフトで絵を描いてみましょう。

たぶん、意外に思われることでしょう。

Word は、文章を作成するビジネスソフト。実は、この Word をはじめとして兄弟ソフトの Excel、Power Point、Access には、「オートシェイプ」という簡単な図形ツールが付属しています。この図形ツールの機能を利用して、絵を描いてしまおう、というわけです。

パソコンで絵を描く専用のソフトは数多くあります。

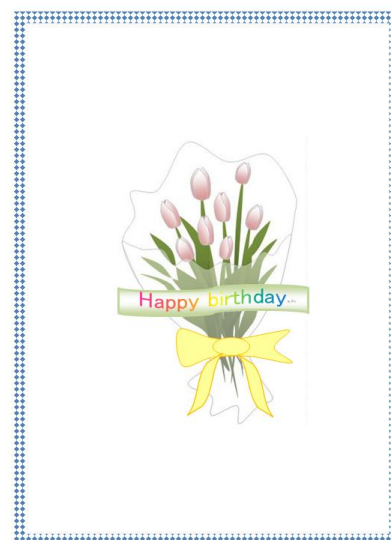
しかし、それぞれに操作が異なり、絵を描く以前にそのソフトの操作方法を覚えなければなりません。

その点、Word や Excel は、少し使ったことがある人が大半です。

いつも使っているソフトで、絵を描くことができれば、それだけで楽しくなります。

オートシェイプの機能は、ただ、地図を描いたり組織図を描いたりするだけではもったいないほどの、おもしろい便利な機能がたくさん含まれています。絵の具も画用紙も使わず、マウスだけで（必要ならキーボードも使って）絵が描けます

今回は、「ネコ」と「チューリップの花束」を描きながら、オートシェイプアートの最初の一步を踏み出してみましょう。



### 2. テキストを使う際のご注意

このテキストは、Windows 7 を搭載したパソコンにインストールされた Microsoft Office Word 2010 を使用した場合を例に説明しています。

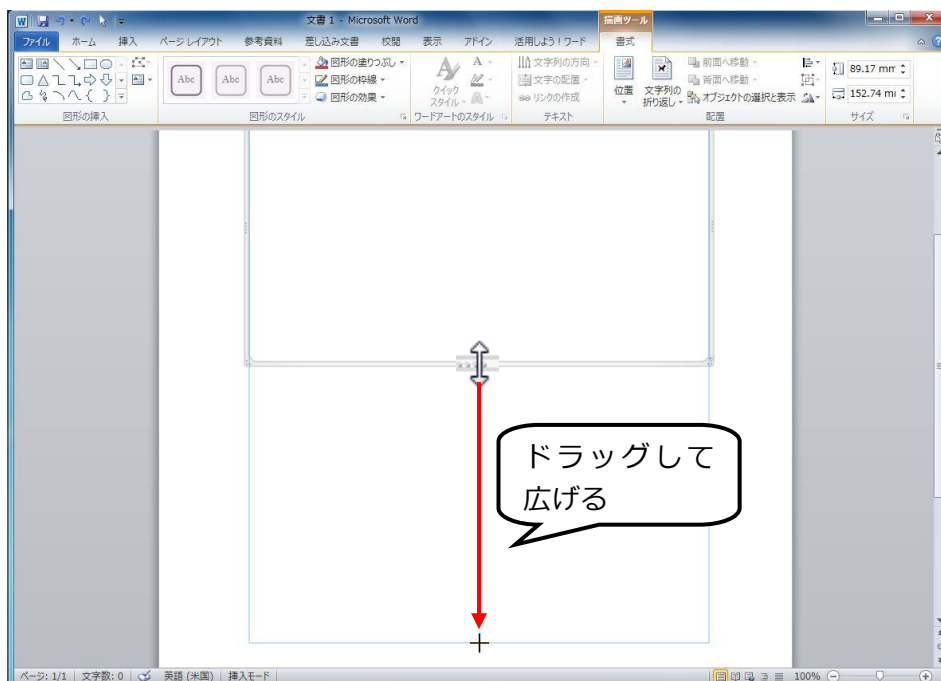
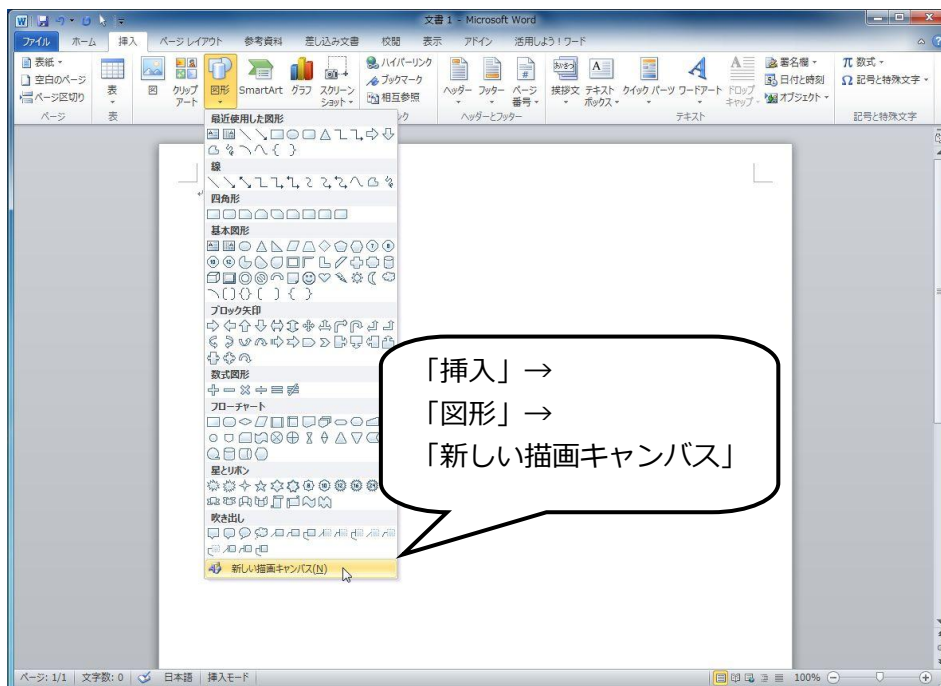
## 1. 準備

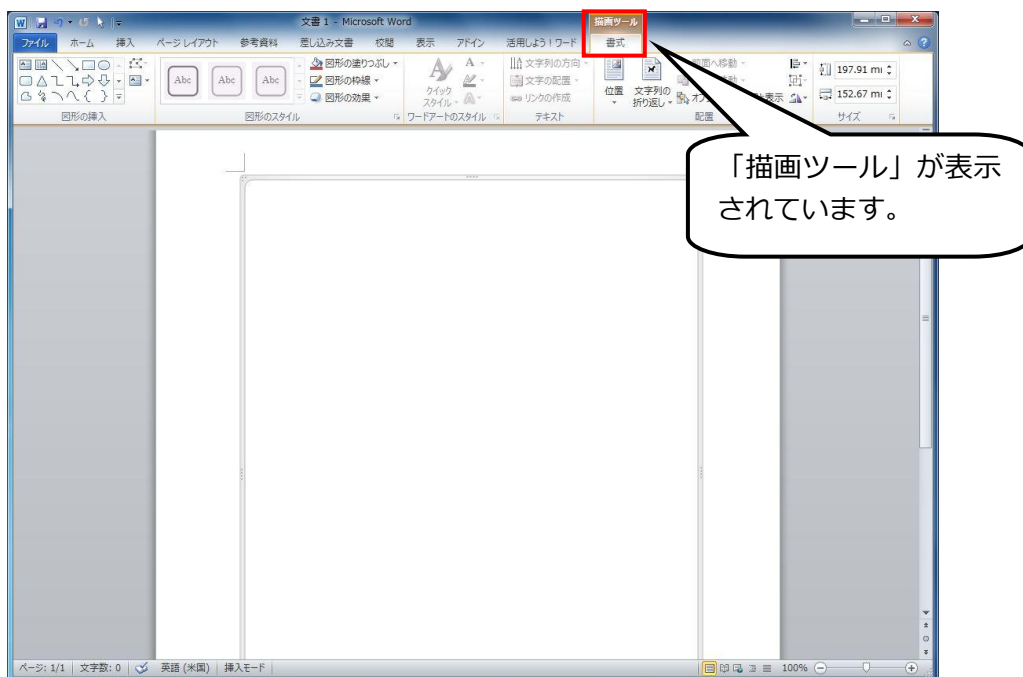
Word 2010 の図形描画機能を使って絵を描く場合、描画キャンパス内で描くと便利です。文字と混在する図形を描く場合は、描画キャンパス内で描くよりページ内に直接描く方が便利な場合もあります。

しかし、今回のように絵を描くことを目的としている場合は、描画キャンパス内で描く方が、図形の選択やグループ化の場合に便利です。

ではさっそく、描画キャンバスを挿入して図形描画を始めてみましょう。

描画キャンバスを挿入するには「挿入→図形→新しい描画キャンバス」をクリックします。





### ■ワンポイント■

●Word 2010 では、描画キャンバスがなくても、図形と写真とをグループ化・グループ解除が出来ます。ただし、次のような問題があります。

「オブジェクトの選択」矢印では 各オブジェクトは選択出来ません。「Shift」キーを押しながら 各オブジェクトをクリックして行くと選択出来ますが、描画が複雑に入り組んでいる場合、ひとつひとつクリックしていくことは難しい場合が多々あります。

●描画キャンバスを挿入の上、その中で図形と写真とを挿入してグループ化が出来ます。矢印のカーソルで対角線にドラッグして範囲選択することも出来ますし、「Shift」キーを押しながら 各オブジェクトをクリックして選択することもできます。

しかし、描画キャンバス外には、コピー&ペーストでは移動することができますが、ドラッグで移動することはできません。

●互換モードで使用の場合(Word 97-2003 形式)でも、描画キャンバスを使用して描くことが基本になっています。

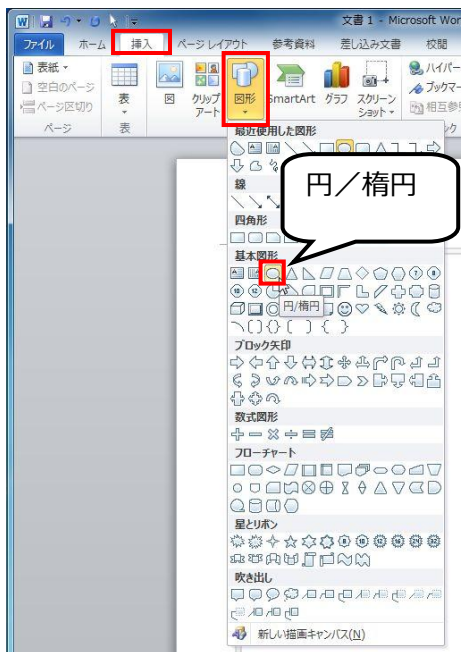
描画キャンバスの外へ図や図形をドラッグして移動することができ、「オブジェクトの選択」矢印で範囲を囲んでの選択や、「Shift」キーや「Ctrl」キーを押しながらの複数選択は可能です。ただ、Word 2007 の場合、ページ上に直接貼付けを行った図や図形オブジェクトは、図とオートシェイプ図形を同時に選択ができません。

「Shift」キーや「Ctrl」キーを押しながら行っても、選択できるのは同じ種類のオブジェクトだけで、違う種類を選ぶと選択が解除されます。

互換モードは、タイトルバーに 文書名 [互換モード] - Microsoft Word と表示されます

## 2. 作画の基本

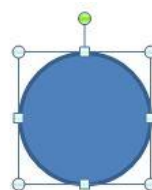
### ① 図形を描く



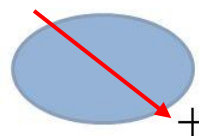
- ① 「挿入→図形」から描きたい図形を選択
- ② マウスポインタが「+」になります。

+

- ③ 画面をクリックすると一定の大きさの図形が描画されます。  
たとえば「円/楕円」を選択した場合は、クリックすると正円が描けます。




また、マウスをドラッグすると、好みの大きさの楕円を描くことができます。

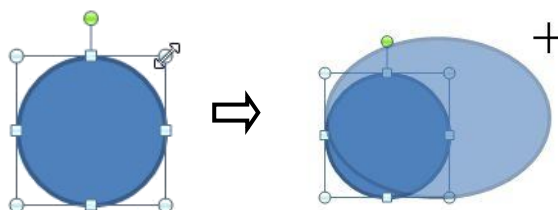


#### ■ワンポイント■

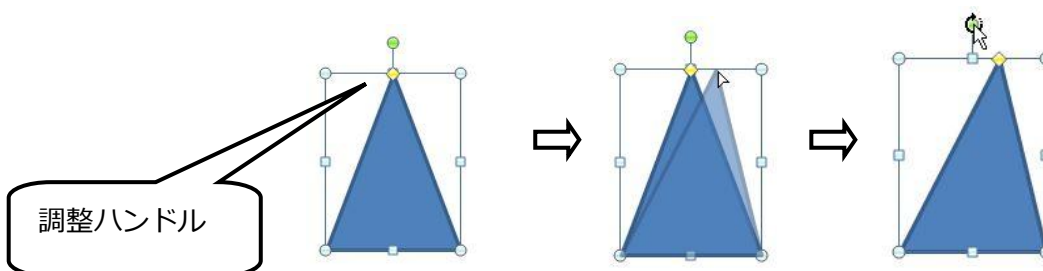
Shift キーを押しながらドラッグすると、正円、正方形、正三角形などを描くことができます。

### ② 大きさや形、傾きを変える

図形を選択して、サイズハンドルにマウスポインタを合わせると、 になります。そのままドラッグすると、図形を大きくしたり、逆に縮小したりできます。

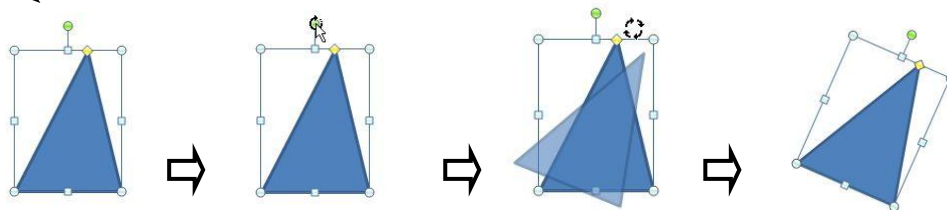


また、図形によっては黄色の調整ハンドルが表示されます。この調整ハンドルをドラッグすると、形を変えることができます。



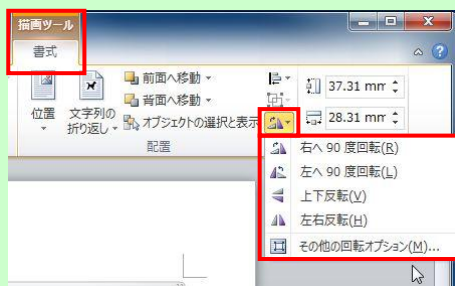
さらに、緑色の回転ハンドルをドラッグすると、図形を回転させることができます

回転ハンドル  
■ワンポイント



■ワンポイント■

図形を選択して、「描画ツール→書式→配置→回転」から、指定した角度での回転を選択することもできます。



③ 枠線

図形の「枠線」の色は、自由に設定することができます。

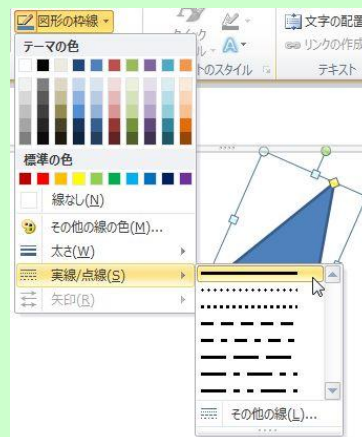
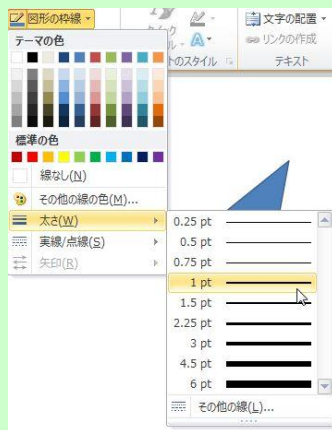


「テーマの色」のパレットには、あらかじめ色が準備されていて、マウスポインタを合わせると色を確認できます。

「線なし」をクリックすると、枠線の色がなくなり、塗りつぶしだけの図形に変化します。

■ワンポイント■

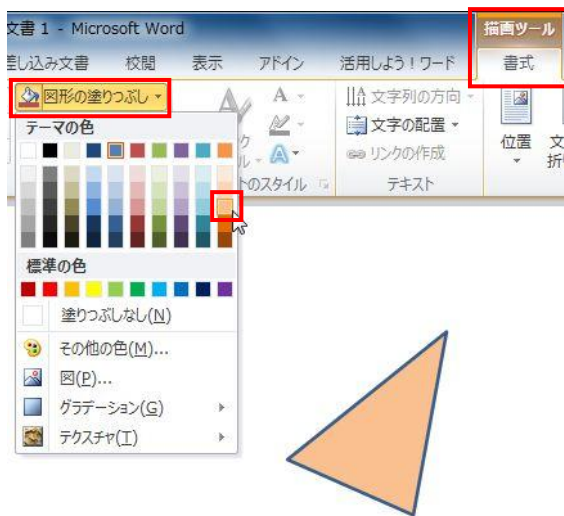
枠線は、色のほか太さや形（実線や点線など）も選択できます。



④ 塗りつぶし

描画した図形には、色をつけることができます。円を描いて実際に試してみましょう。

「図形を選択→描画ツール→書式→図形の塗りつぶし」の順にクリックします。



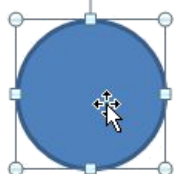
「テーマの色」のパレットには、あらかじめ色が準備されていて、マウスポインタを合わせると色を確認できます。パレットの色の上でクリックすると、その色で塗りつぶされます。


■ワンポイント■

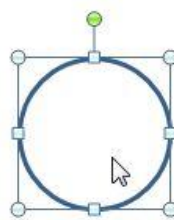
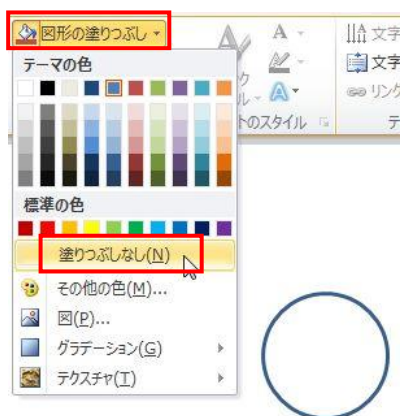
「その他の色」をクリックして、他の色を作成したり、透過性を設定することもできます。



描いたばかりの図は、内部が青で塗りつぶされていますので、塗りつぶし部分を選択できます。



しかし、「塗りつぶしなし」に設定すると、図形の色がなくなり枠線だけの図形に変化します。円の中央部分にマウスポインタをあわせるとマウスポインタの形が  に変化し、図形を選択することができなくなります。円の中央が空洞になったのです。



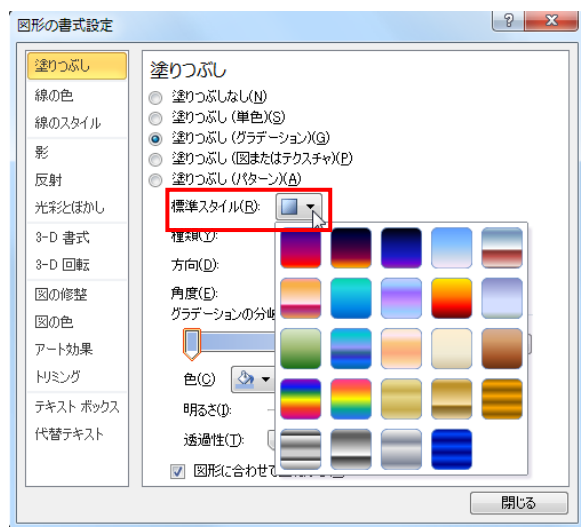
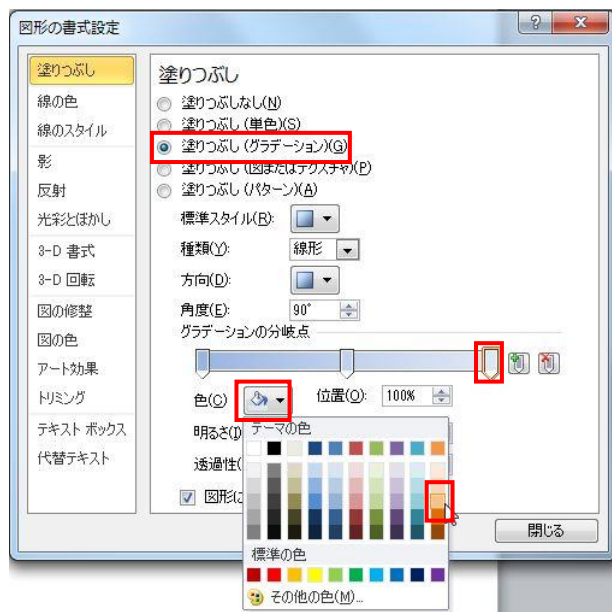


塗りつぶしには、単色の塗りつぶしのほか、「塗りつぶし効果」からグラデーションを選択することもできます。グラデーションには、図形に立体感を出す効果がありますので、オートシェイプで描画する場合、重要な機能になります。



グラデーションを選択するには、「描画ツール→書式→図形の塗りつぶし→グラデーション」から「その他のグラデーション」を選択します。

さらに色の設定では、様々な色のグラデーションを作成することも出来ます。



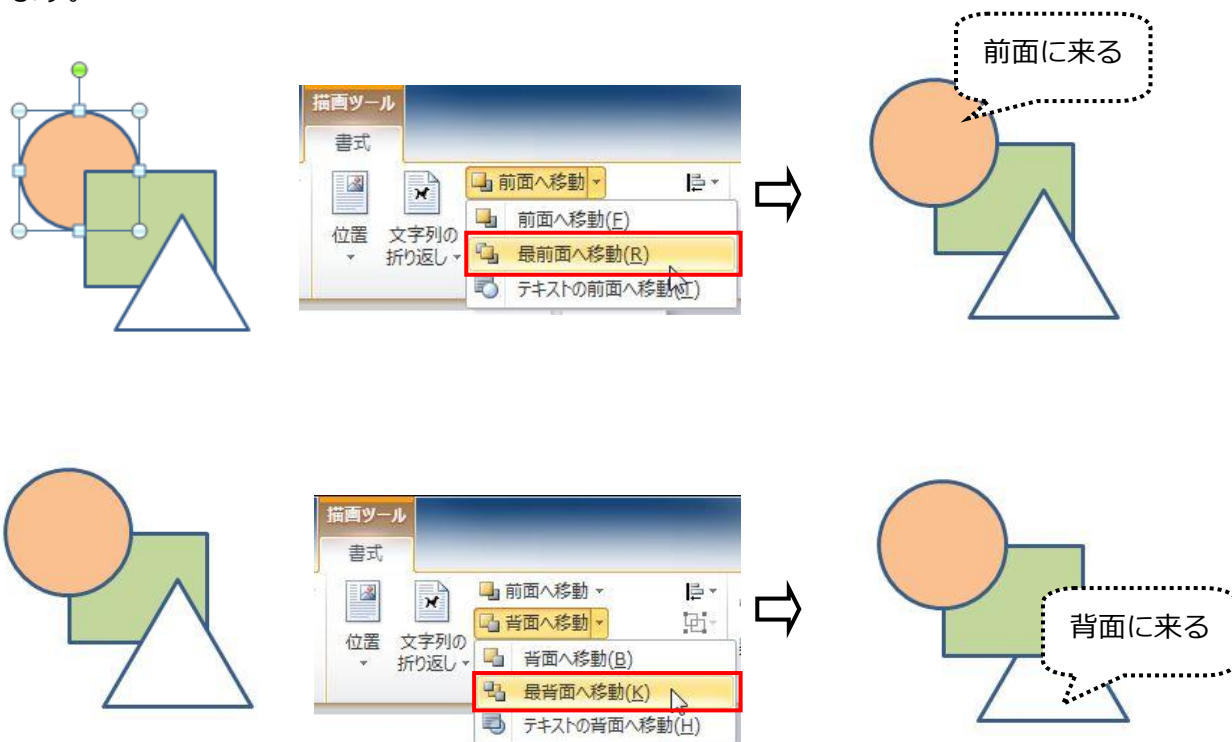
また「標準スタイル」では、「夕焼け」や「夜明け」などのグラデーションもあらかじめ準備されています。

⑤ 重なり

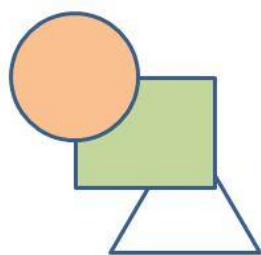
図形は、最初に描いた図形の上に、次に描いた図形が配置されます。

順序を変えるには、重なりを変更したい図形を選択して、配置を変えます。

たとえば、下記の円を最前面に持てきたい場合、円を選択して「描画ツール→書式→最前面に移動」をクリックします。同様に、四角形や三角形を選択して、最背面に移動させることもできます。



⑥ グループ化

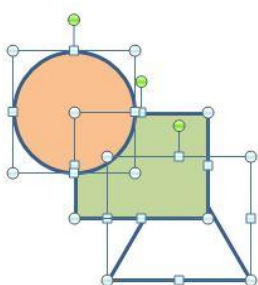


これらの図形はひとつひとつが独立したパーツですが、バラバラにならないように、ひとまとめに結合することができます。これを「グループ化」といいます。

オートシェイプで描画する場合、このグループ化を使いこなすととても描きやすくなります。

描いた図形をすべて選択するには、2つの方法があります。

- ・ 図形を一つ一つ選択する方法



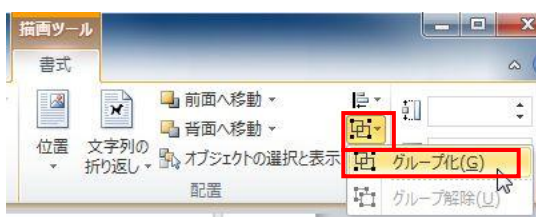
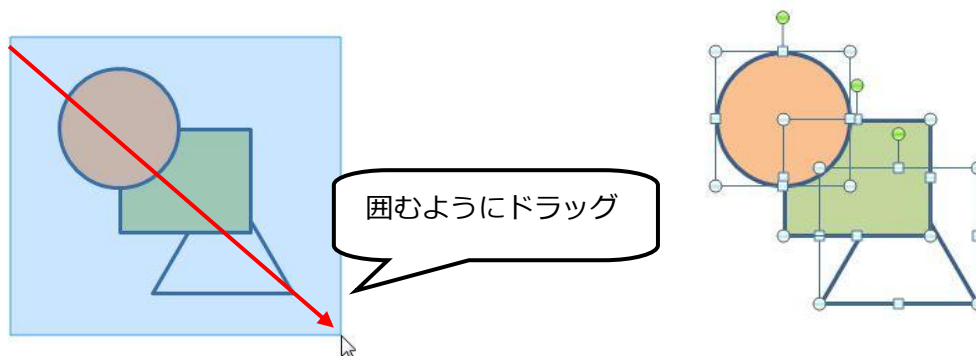
はじめに1つ目の図形(ここでは円)をクリック→Shift キーを押しながら2つ目の図形(ここでは四角形)をクリック→さらに Shift キーを押したまま3つ目の図形(ここでは三角形)をクリック、というように、順番に Shift キーを押しながら図形をクリックすると、クリックした図形がすべて選択できます。

離れた位置にある図形をグループ化したい場合や、中にグループ化したくないものが混在する場合に便利です。

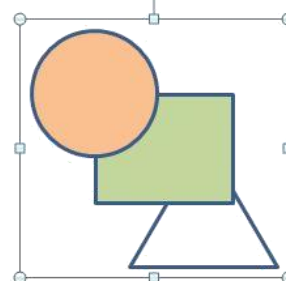
- ・ 図形をまとめて選択する方法（描画キャンパスを使用した場合）

図形の周りをドラッグして、グループにしたい図形をすべて囲んで選択します。

図形の一部でも囲みから外れた場合は、その図形はグループ化されません。



すべて選択できたら、「描画ツール→書式→グループ化→グループ化」をクリックします。

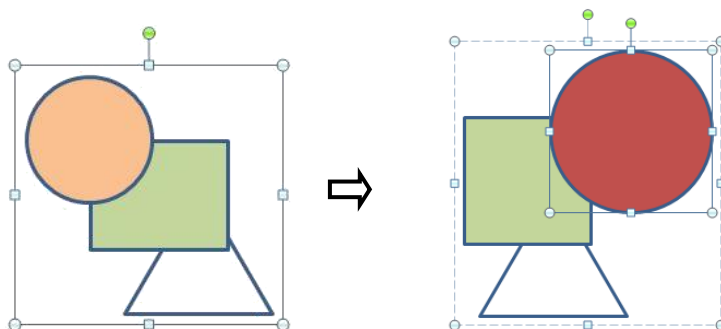


グループ化した図形はサイズ変更や回転、塗りつぶしなどの際 1 つの図形として扱われます。

また、グループ化した図形は、いつでも元に戻すことができます。

また、グループ化されたパーツも、もう一度クリックするとそのパーツだけが選択され、実線枠で表示されます。選択されたパーツは、色の変更・大きさや位置の変更も出来ます。

このことによって、グループ化されたオブジェクトはグループ化を解除することなく、変更を加えることができます。



- ※ グループ解除するには、図形を選択して「描画ツール→書式→グループ解除」で行うことが出来ます。



### 3. ネコを描いてみよう

#### (1) 頭部を描く

描画ツール類は、リボンの「挿入」の中の「図形」に格納されています。



この「図形」のパレットの中には、「基本図形」をはじめとして、さまざまなツールが揃っています。これらを組み合わせたり、または図形の「頂点」を編集することによって形を変更しながら、絵を描いていきます。

今回はこの中から、下記のツールを利用します。

#### 線

- ・直線

#### 基本図形

- ・二等辺三角形
- ・円／楕円
- ・ハート
- ・月
- ・円弧

#### フローチャート

- ・論理積ゲート

また、使用中、または使用したばかりの図形は、「最近使用した図形」のコーナーに表示されますので、頻繁に使う場合には便利です。

#### ■ワンポイント■

##### クイックアクセスツールバーについて

Word のタイトルバーの左に、小さなアイコンが並んでいます。

ここは「クイックアクセスツールバー」と行って、よく使用するボタンを登録しておくことができます。

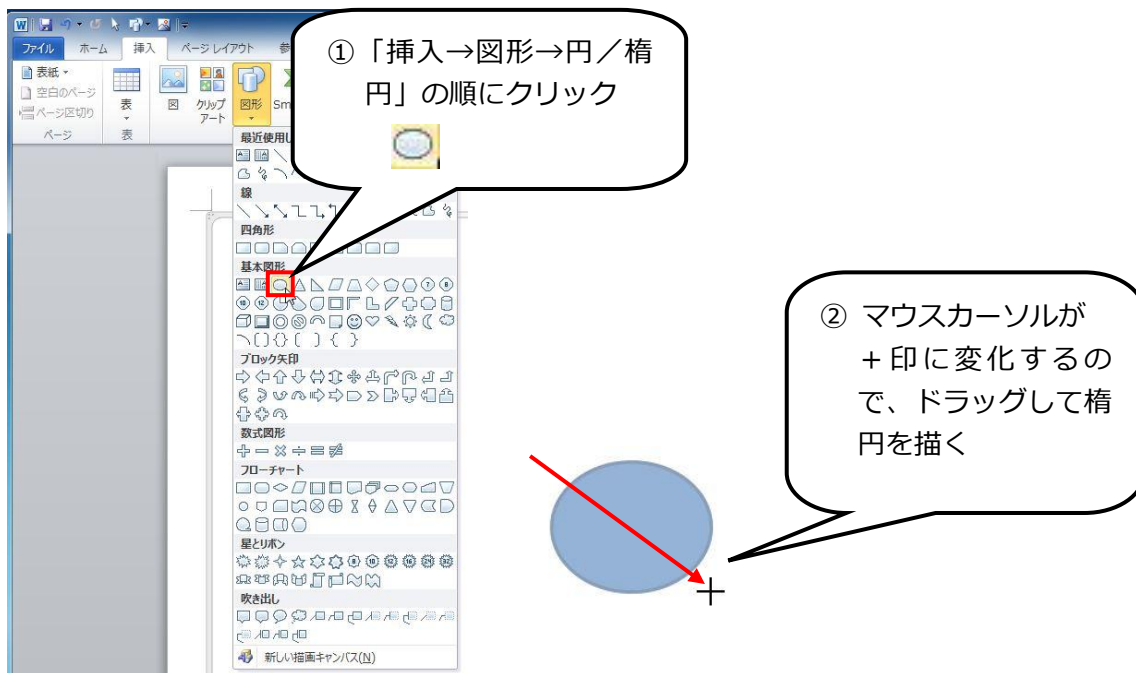
オートシェイプで絵を描く場合、ここに「図形」や「オブジェクトの選択」「グループ化」などのアイコンを登録しておくると便利です。登録するには、リボンの中の該当ボタンを右クリックし、「クイックアクセスツールバーに追加」をクリックするだけです。

また、このクイックアクセスツールバーは、リボンの下部に配置することも出来ます。



① 顔の部分を描く

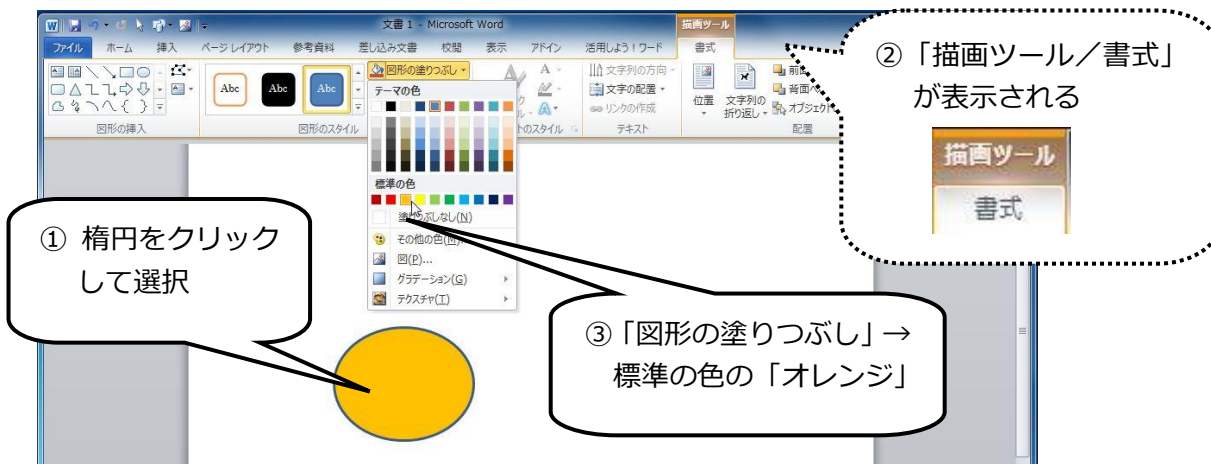
「挿入→図形→円／楕円」の順にクリックして、マウスを矢印のようにドラッグすると、楕円が描けます。



この楕円に色を塗ります。まず単色で塗ってみましょう。

楕円をクリックすると、「描画ツール」のタブが表示されます。

「書式→図形の塗りつぶし→標準の色」から「オレンジ」を選択します。



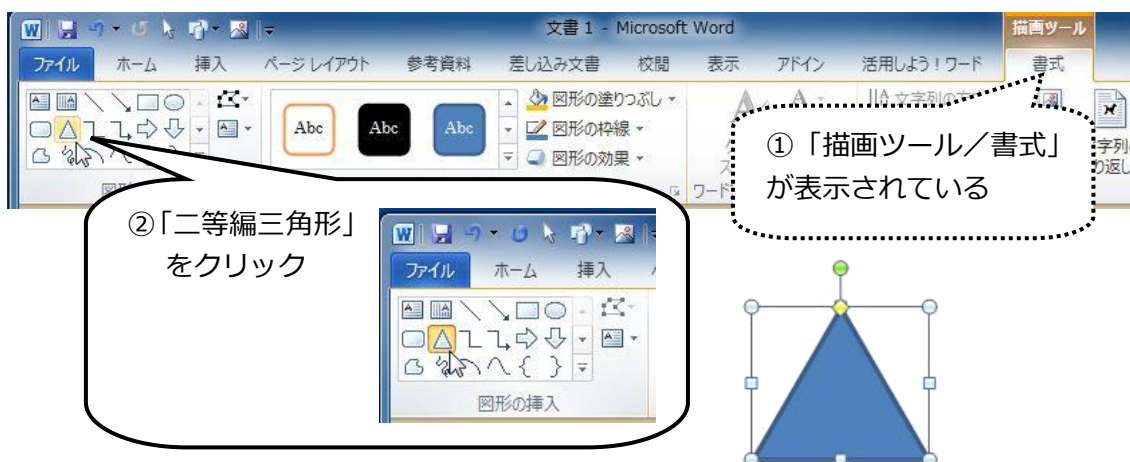
次に、輪郭の線を消しておきましょう。



② 耳を描く

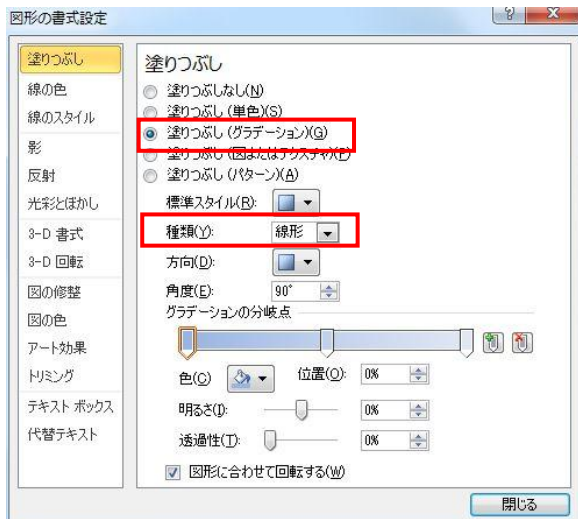
続いて二等辺三角形で、耳を描きます。

楕円を選択しているときは「描画ツール」が表示されていますので、このツールを利用して描くこともできます。

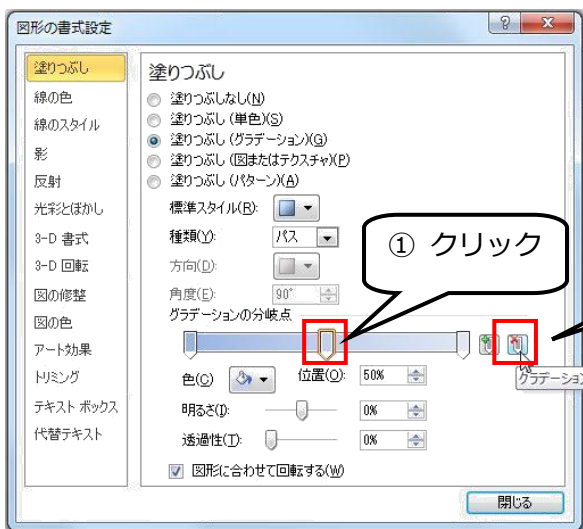


二等辺三角形で耳を描き、色を塗りますが、今回はグラデーションを使ってみます。

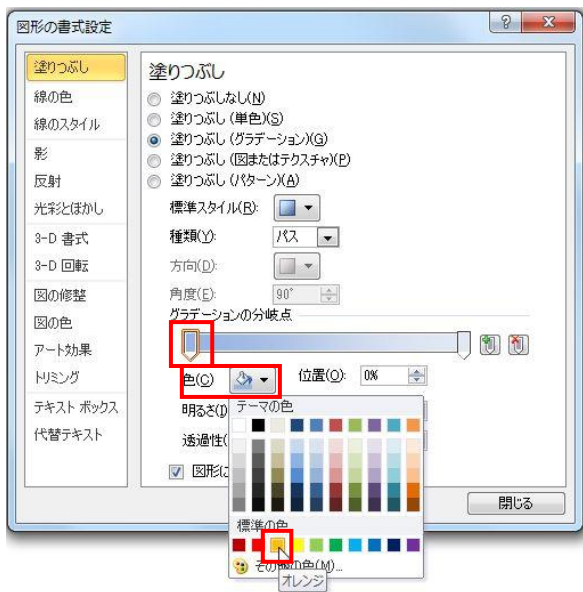




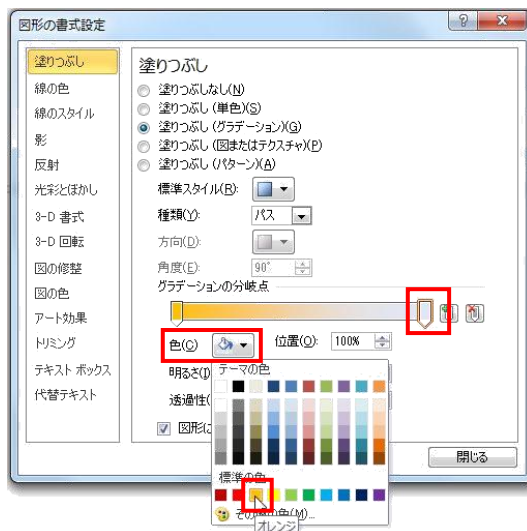
- ① 「塗りつぶし(グラデーション)」にチェックを入れる
- ② 「種類」を「パス」に変更



- ③ 「グラデーションの分岐点」の真ん中の分岐点を削除

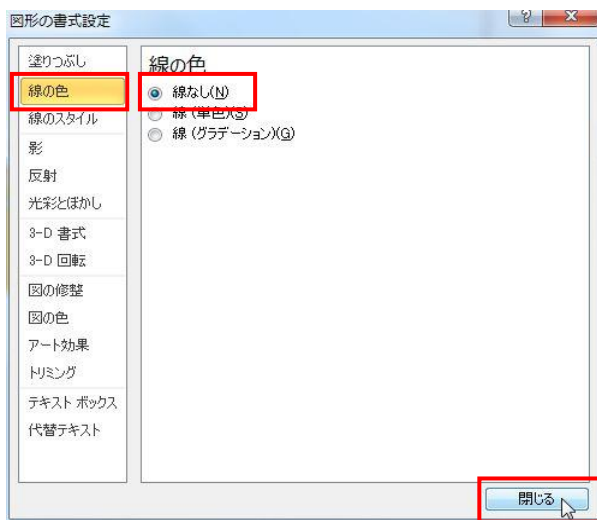
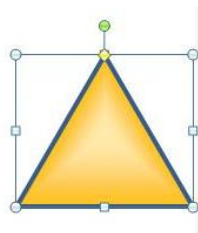


- ④ 両方の分岐点をオレンジに設定します。  
左の分岐点1をオレンジに変更するには、左の分岐点のレバーをクリックして選択し、「色」をオレンジに変更します。  
同様に、右の分岐点2のレバーもオレンジに変更します。

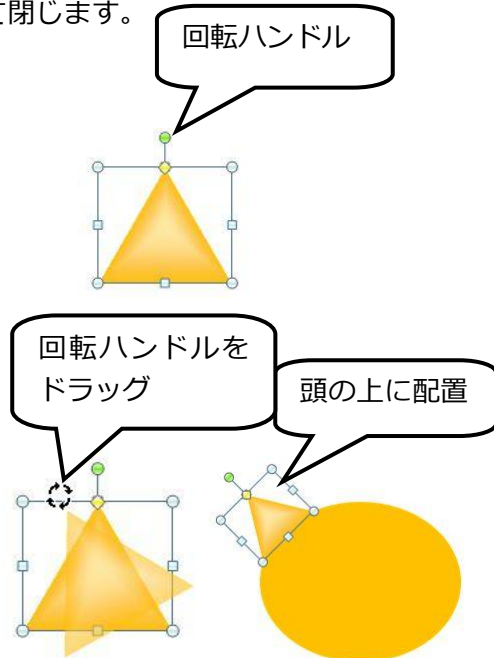
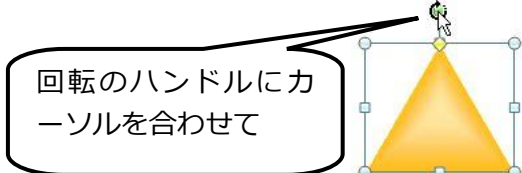




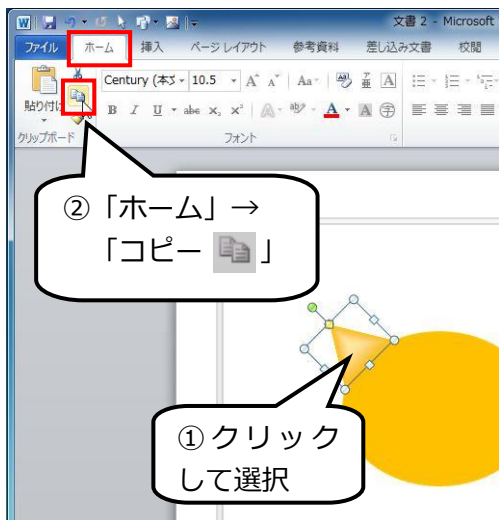
⑤ 左の分岐点1のレバーを選択して、「明るさ」のレバーで明るい方に調整します。



⑥ 左の欄の「線の色」を選択し、「線なし」をクリックして閉じます。

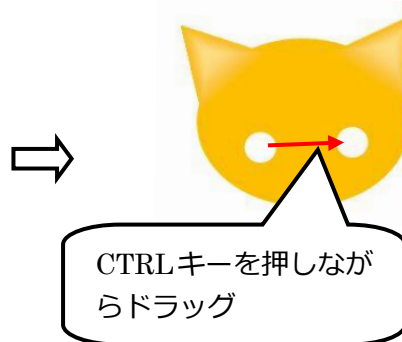
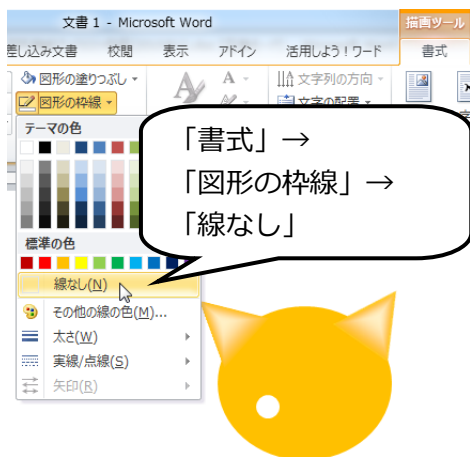
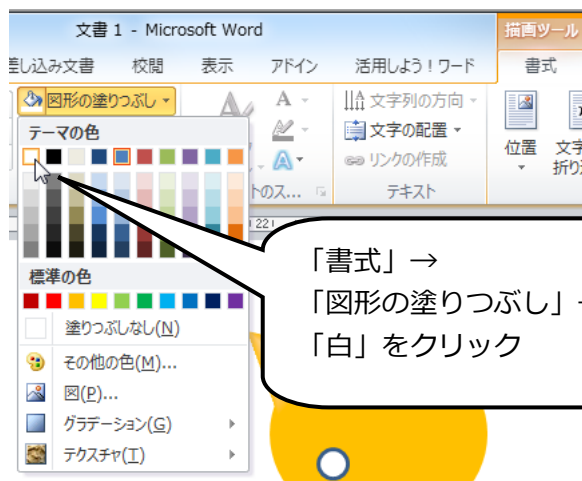
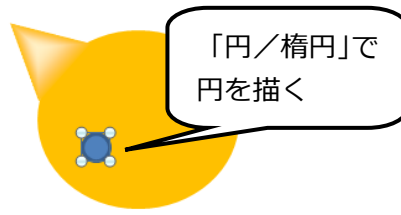
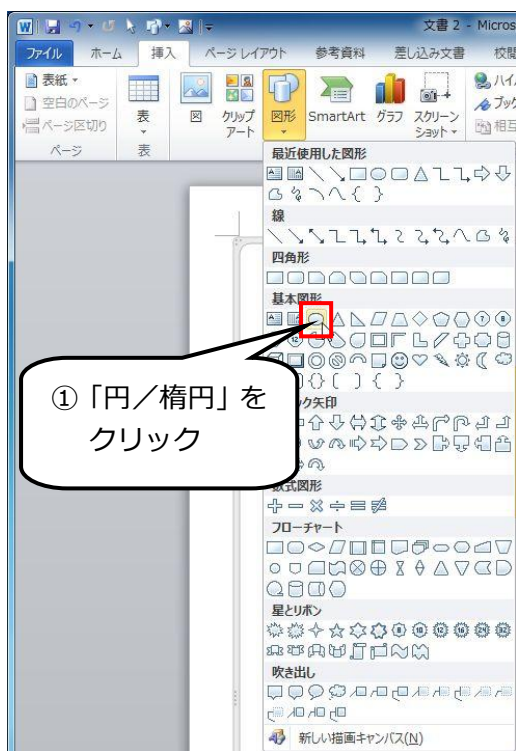


三角形をコピーして、2つに増やし回転させて顔に配置します。

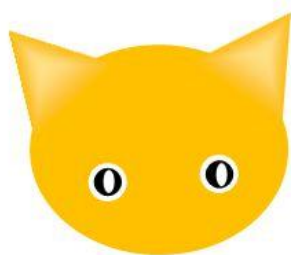




③ 目を描く



同じようにして、黒目、瞳を描きます。



■ワンポイント■

細かい図は、画面を大きく拡大して描くと描きやすくなります。また、細かい移動をしたい場合は、マウスでドラッグするより、キーボードの矢印キーを使うと細かく移動できます。

さらに、下記の手順で「グリッドに合わせる」をオフにすると、最適な位置に配置することができます。

「グリッドに合わせる」をオフにするには、図をクリック→「描画ツール」の「書式」タブにある「配置」をクリック→「グリッドの設定」をクリック→「描画オブジェクトをほかのオブジェクトに合わせる」チェック ボックスをオフにします。

④ 鼻先を描く

挿入のタブから「図形→フローチャート→論理積ゲート」をクリック。  
 黒く塗りつぶし「線なし」にして、回転させて鼻の位置に配置します。

①「挿入」→  
「図形」→  
「D」

ドラッグして描く

「図形の塗りつぶし→黒」  
をクリック

「線なし」にして、右へ回転させる。

「線なし」  
にしておく

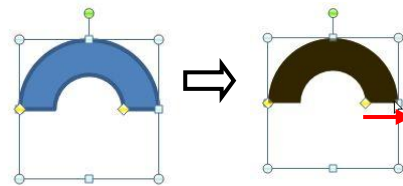
回転させて、鼻の位置に  
配置します。

さらに、口も同じように  
描きます。色は赤に塗り  
つぶします。

**■ワンポイント■**  
 図形が小さいと、回転ハンドルが表示されない場合があります。このときは、画面の表示を拡大するか、図形を大きく描くと表示されます。  
 オートシェイプを使って描く場合は、まずできるだけ大きく描き、最終的に適度な大きさに縮小調整するように描くのがコツです。(ただし、「線」は拡大縮小できませんので、注意が必要です。)

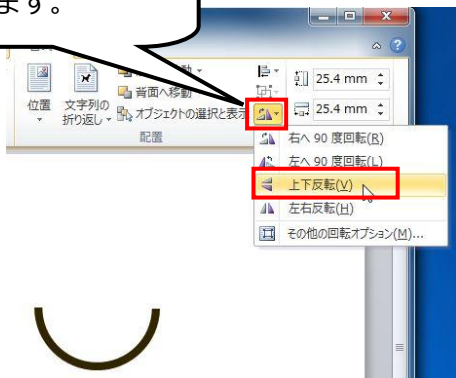
挿入タブから「図形→基本図形→アーチ」を選択します。

① 「挿入→  
「図形 →  
「アーチ」



アーチを黒に塗りつぶし、「線なし」にして、黄色のハンドルで幅を細くします。

アーチを選択し、上下反転させます。



「アーチ」で描いた線を鼻の下に配置します。



「直線」でひげも描きます。

⑤ 縞模様を描く

挿入タブから「図形→基本図形→月」をクリック。茶色で塗りつぶし「線なし」にします。

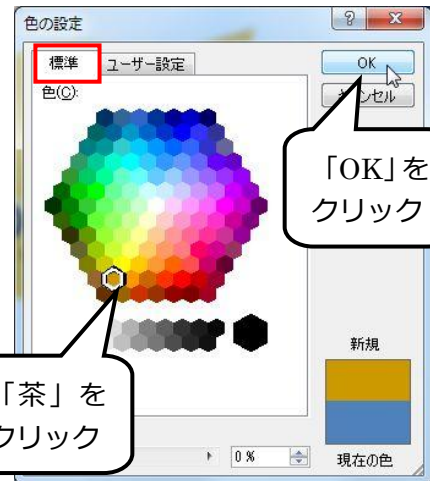


① 「月」をクリック



③ 「図形の塗りつぶし」→「その他の色」

②クリックして描いた状態で…

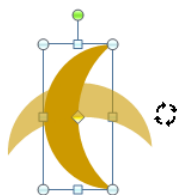


「OK」をクリック

「茶」をクリック

■ワンポイント■

「ユーザー設定」から図のように茶色の色合いを細かく指定することも出来ます。



緑色の回転ハンドルで  
横向きに回転させます。



同じようにして、3つの  
パーツを作ります。



重ね合わせて縞模様  
にします。

「ホーム→選択→オブジェクトの選択」をクリックし、縞模様をドラッグして範囲指定します。

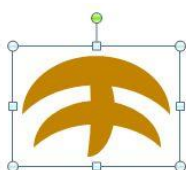


② 縞模様を囲む  
ようにドラッグ



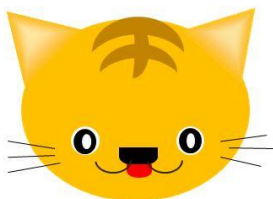
③ このように縞模様  
にたくさんのハンドル  
が表示されます。

④ 「書式→グループ化→  
「グループ化」



④ グループ化すると、  
ハンドルが8つになります。

これを頭に配置し  
大きさも整えます。



さらに顔の縞模様も  
「月」で入れておき  
ます。



⑥ ほっぺの赤みを描く

ほっぺを、ほんのり赤くしてみましょう。  
基本図形の楕円をクリックし円を描きます。

① 円をクリック

② 「書式」 → 「図形の塗りつぶし」 → 「テーマの色」の「オレンジ」

② 「書式」 → 「図形の塗りつぶし」 → 「グラデーション」 → 「その他のグラデーション」

- ① 「塗りつぶし(グラデーション)をチェック
- ② 「種類」は「パス」
- ③ 「グラデーションの分岐点」を濃いオレンジに設定
- ④ 「閉じる」をクリック
- ⑤ 左の「線の色」から「線なし」をクリック

最後に、枠線をなしにして顔の色と同化させます。

ドラッグして、頬の位置に配置します。



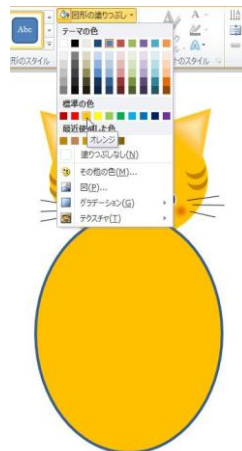
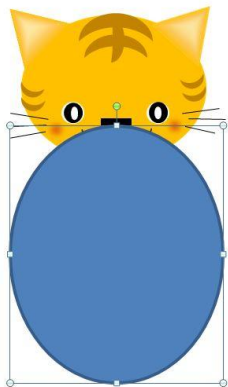
コピーして、両頬に配置します。

(2) 胴体を描く

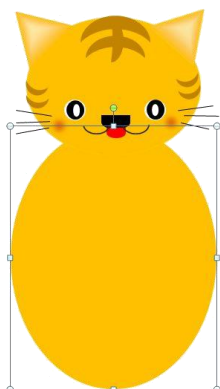
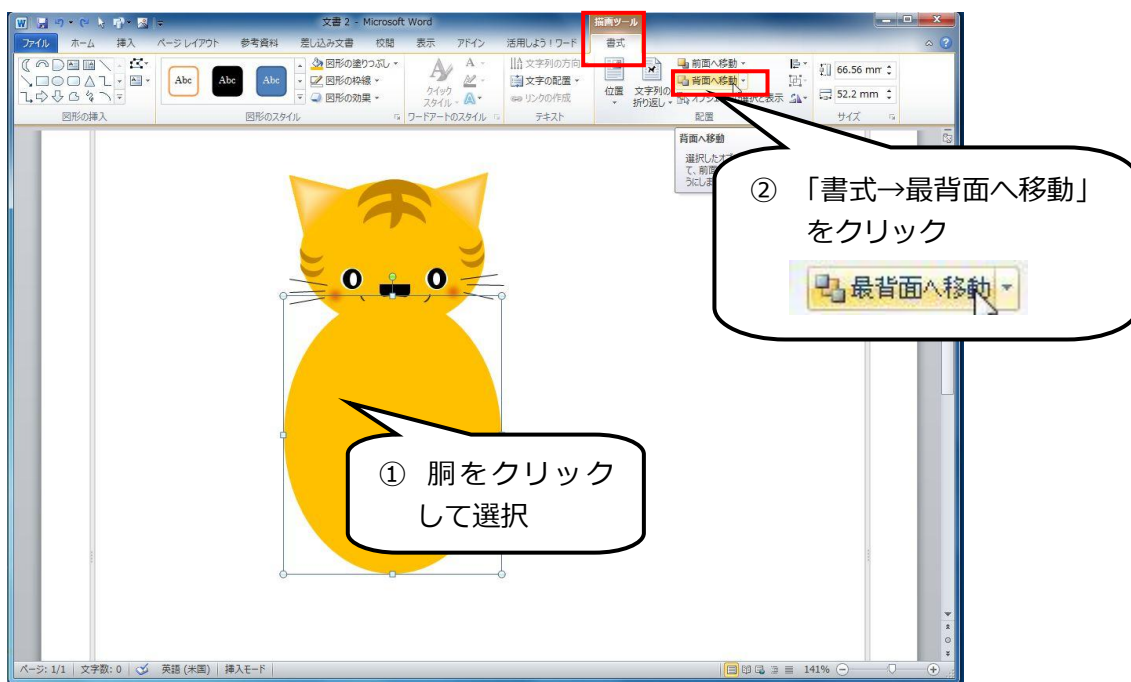
① 胴体

楕円を使って、胴体を描きます。

胴体に頭と同じ色を塗り、「線なし」にします。



上図のように、胴体が顔の上にきますので、胴体を頭の背面に持っていきます。胴体を選択したまま、「配置→最背面へ移動」をクリックします。



このように、顔の後ろに胴体が配置されます。

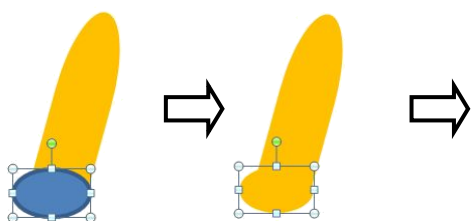
② 腕と足を描く

腕は、基本図形の「論理積ゲート」と「楕円」を使い作成します。

これをコピーして2本にし、1本を左右反転します。

縞模様は、図形の「月」を茶色に塗りつぶして作成します。

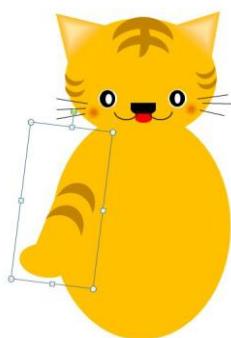
腕を回転して、さらに楕円で手の部分を描き、オレンジで塗りつぶし、「線なし」にします。



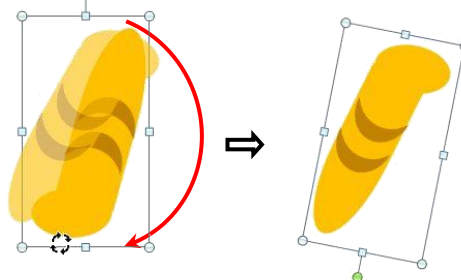
さらに、月を使って、縞模様を描きます。



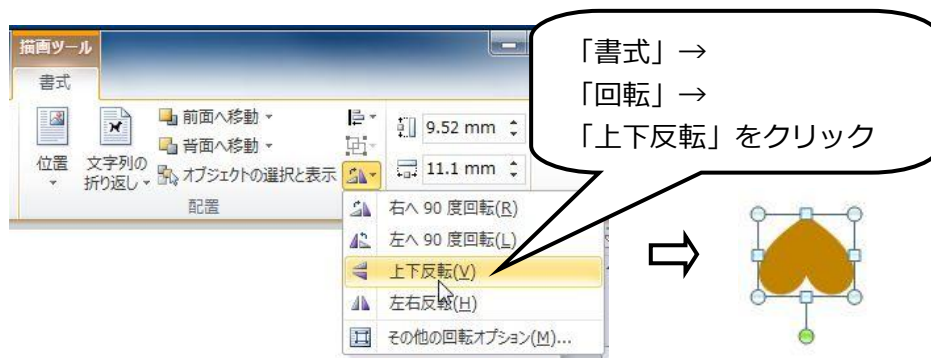
グループ化し、コピーして2つにしておきます。



もう片方の腕を、緑色のハンドルを使って、回転させておきます。



挿入タブの「図形→基本図形→ハート」で、肉球を描きます。さらに茶色で塗りつぶし、描画ツールの「書式→回転→上下反転」をクリックします。



円を4つ描き茶色で塗りつぶし、ハートと組み合わせてグループ化します。これで肉球が完成です。



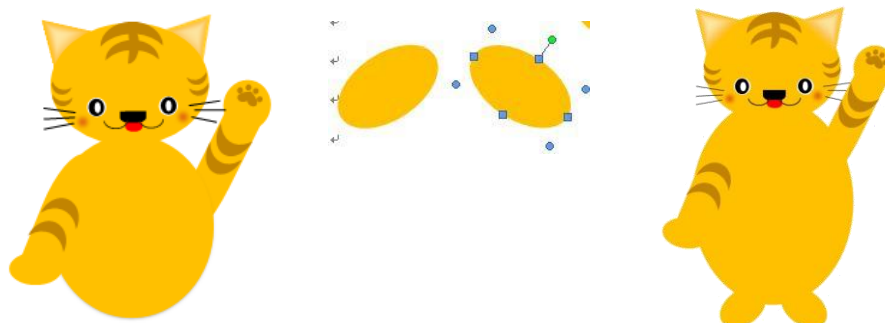
これを、先に描いた腕の上に配置し  
グループ化します。





両腕の大きさや角度を調整しながら、胴体に配置します。

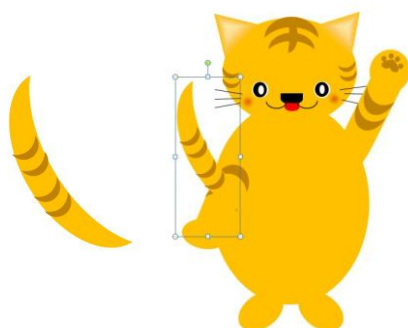
さらに、楕円を使って足を描きます。



③ しっぽを描く

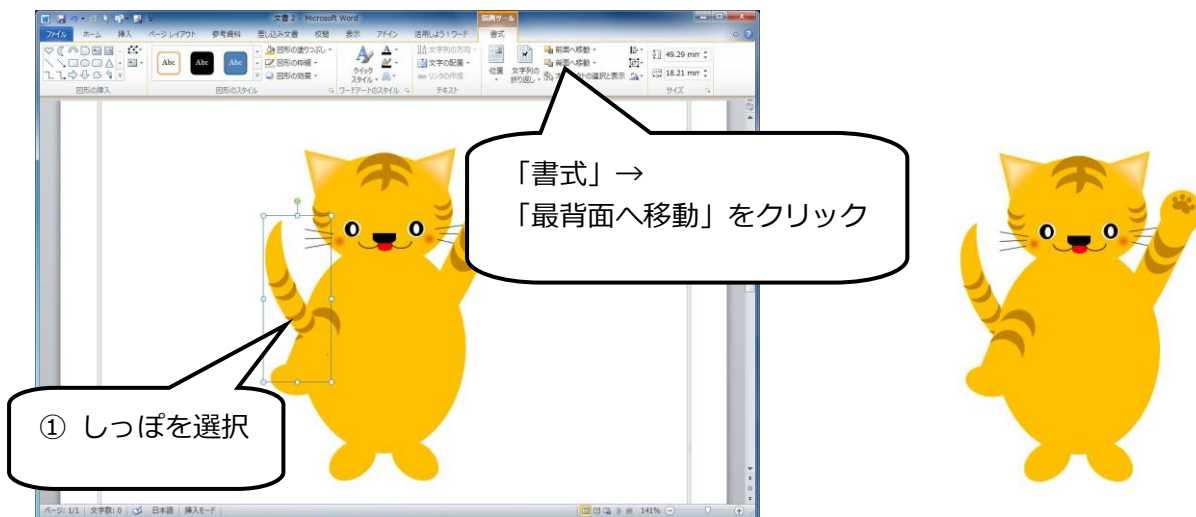
しっぽも、月を使って図のように描き、グループ化しておきます。

さらに、胴体に配置します。



ところが、しっぽが、胴体の前面に出てきてしまいます。

ここで、しっぽと胴体の前後関係を修正します。

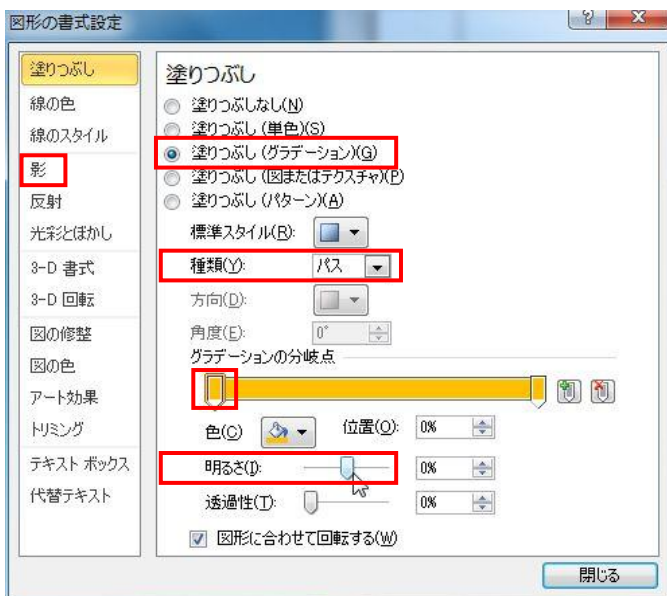


しっぽが体の後ろに配置されます。

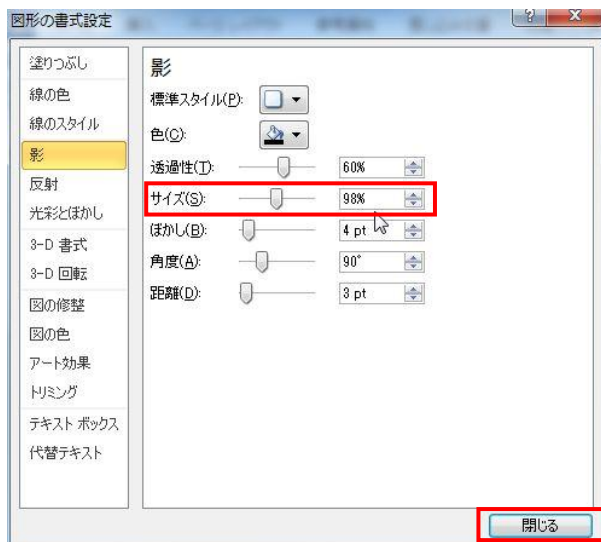
### (3) 顔と胴体にグラデーションをつける

最後に、全体に立体的に見せるために頭部と胴体にグラデーションをつけましょう。  
 顔の部分をクリックして、「図形の塗りつぶし→グラデーション→その他のグラデーション」の順にクリックします。

② 「図形の塗りつぶし」 → 「グラデーション」 → 「その他のグラデーション」の順にクリックします。



- ① 「塗りつぶし (グラデーション)」 をクリック
- ② 「種類」 は「パス」
- ③ 「グラデーションの分岐点」は両方「標準の色」の「オレンジ」
- ④ 左の分岐点 1 をクリックして、「明るさ」のレバーを明るい方にドラッグし、濃淡を調整します。
- ⑤ さらに、左のメニュー欄から「影」をクリック
- ⑥ 「標準スタイル」の中から「オフセット (下)」をクリック
- ⑦ さらにサイズを 98% に設定し、影を細目に変更
- ⑧ すべて設定できたら、「閉じる」をクリック




耳が顔より前に配置されている場合は、耳を両方選択して、「描画ツール」→「書式」→「背面へ移動」→「最背面へ移動」を選択し、耳を顔の後ろに配置します。

① 両方の耳を選択

② 「描画ツール」→「書式」→「背面へ移動」→「最背面へ移動」

顔が立体的になりました。

顔が整ったら、グループ化しておきます。



続いて、胴体もグラデーションにします。

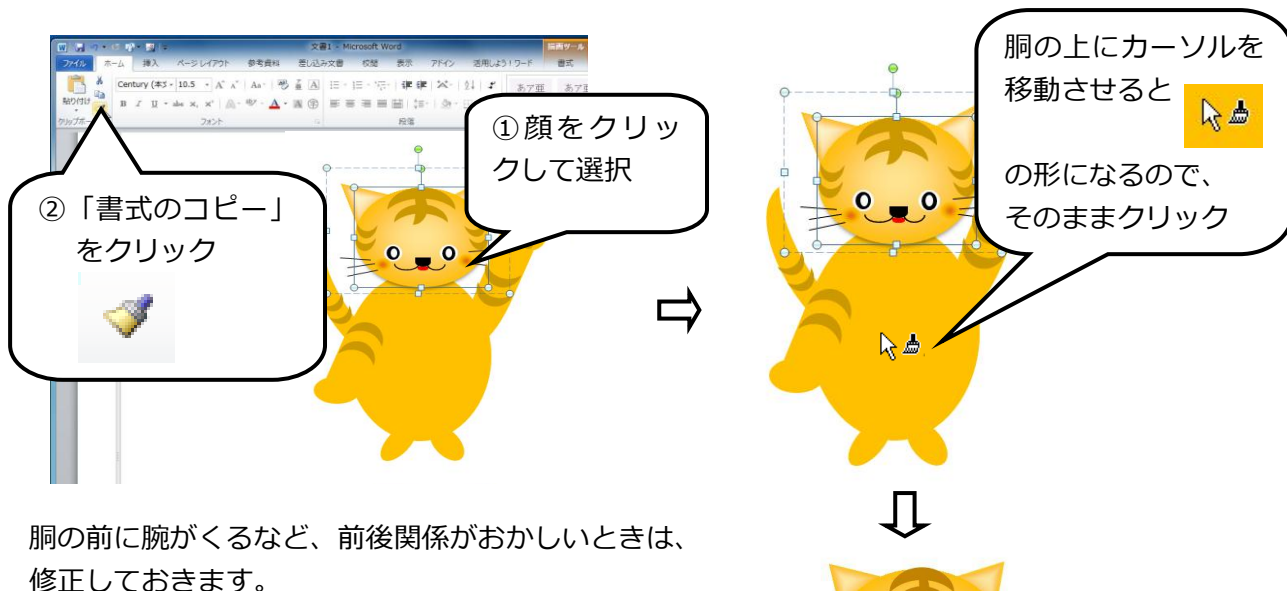
顔の部分と同じように操作して、グラデーションを付けることも出来ますが、Word には便利な機能が用意されています。「書式のコピー」です。頭部をグループ化している場合は、頭部を選択し、さらに顔の部分をクリックします。

② 「書式のコピー」をクリック

① 顔をクリックして選択

胴の上にカーソルを移動させるとの形になるので、そのままクリック

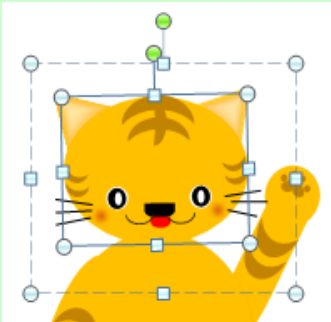
胴の前に腕がくるなど、前後関係がおかしいときは、修正しておきます。



■ワンポイント■

頭部をグループ化している場合、頭部をクリック→再度、顔の部分ををクリックすると、顔の部分に図のような実線の枠が表示され、グループを解除することなく顔だけを選択することができ、直接色を変えたり形や位置を変更できます。

さらに、選択されたパーツの書式だけをコピーすることも出来ます。

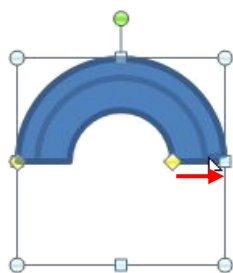
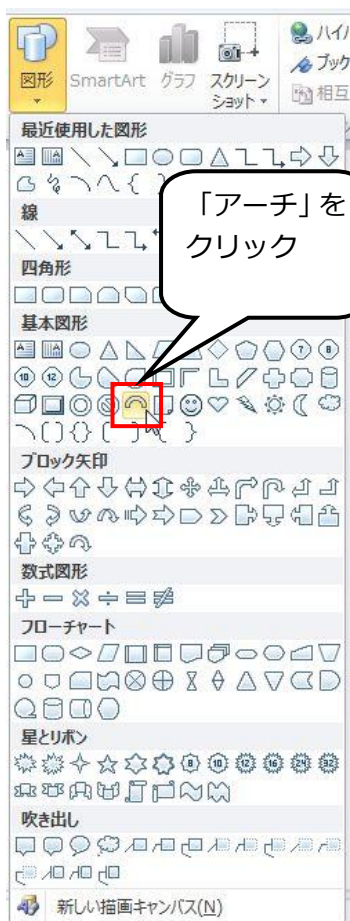


胴が立体的になりました

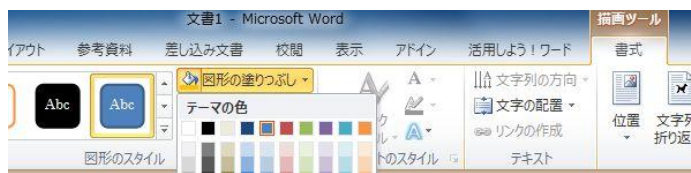


(4) 首輪と鈴

まず、首輪をアーチを使って描きます。基本図形の「アーチ」をクリックします。



黄色のハンドルをドラッグして、幅を細くします。

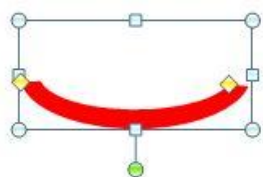


「描画ツール」→  
「書式」→  
「図形の塗りつぶし」→  
「赤」をクリック

さらに、「線なし」に設定しておきます。



「描画ツール」→  
「書式」→  
「図形の枠線」→  
「線なし」をクリック



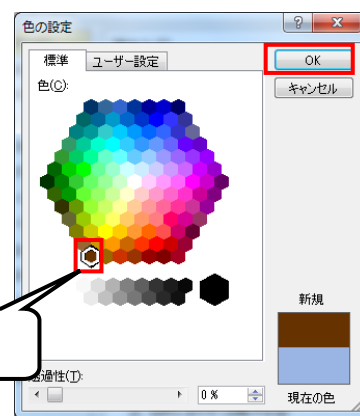
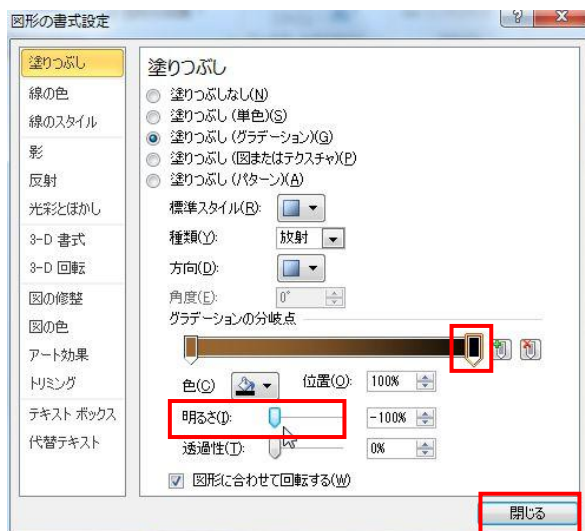
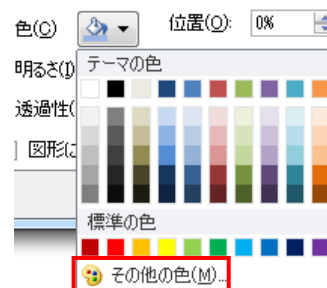
アーチを上下反転させ、形を整えて、首輪を作り、ネコの首の位置に配置します。



鈴は「円」を使って描き、「線なし」にしておきます。



- ① 「塗りつぶし (グラデーション)」 をクリック
- ② 「種類」 は「放射」 を選択
- ③ 「方向」 で「左上隅から」 を選択
- ④ 左右の分岐点それぞれで、「色」 → 「その他の色」 から茶を選択



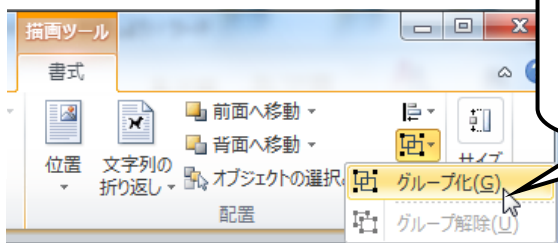
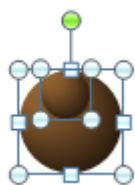
- ⑤ 右の分岐点 2 を選択して、「明るさ」 で濃淡を調節
- ⑥ 「閉じる」



グラデーションで塗りつぶしが完成したら、コピーして2つにし、1つは縮小し、図のように重ねます



2つの円を選択して、グループ化します。



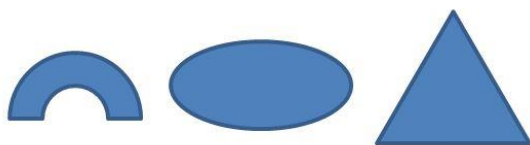
「描画ツール」 → 「グループ化」 → 「グループ化」をクリック



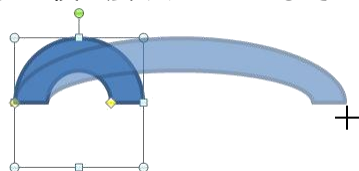
首輪に取り付けます。

(5) 魚

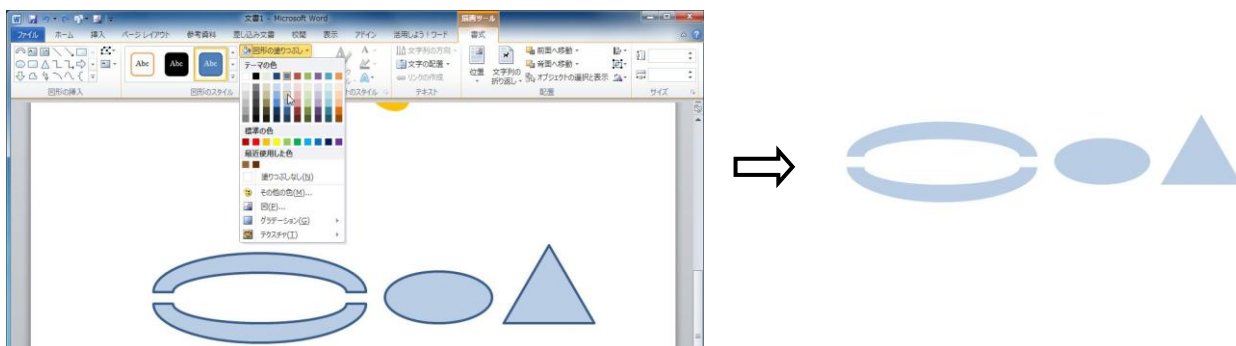
魚は、次のように、「アーチ」「楕円」「二等扁三角形」を使って描きます。



アーチを横に広げ、コピーして2つにし、一つは上下反転させておきます。



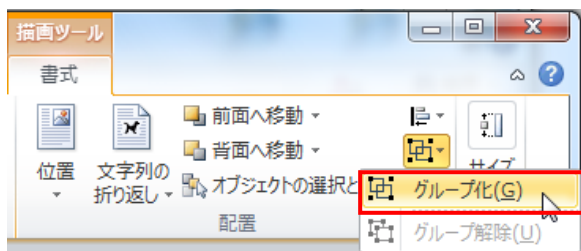
4つの部品をすべて選択して、彩色し、「線なし」にします。



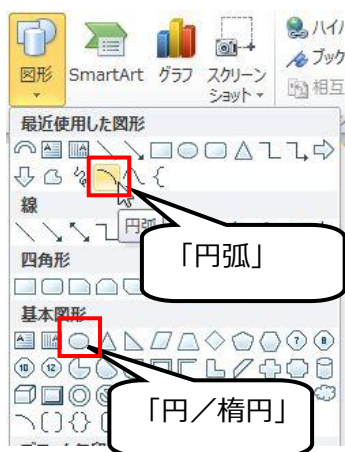
「アーチ」を図のようにまとめ、その上に楕円を重ね、魚の形にし、三角はしっぽにします。バランスを考え、大きさを調整します。



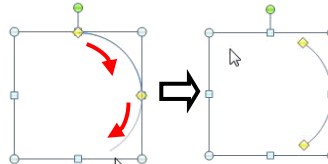
これらをグループ化しておきます。



魚の上に「基本図形」の「円弧」で線を描き、「円」で目を描きます。



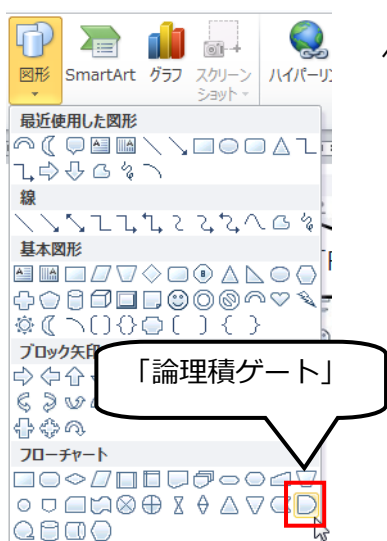
円弧は、**クリックして描画**した後、黄色のハンドルを操作して、形を整えます。



目も円で描いて、魚の上に配置します。色は黒でなくても構いません。



「フローチャート」の「論理積ゲート」で鱗を描き、「線なし」、ベージュで色を付け、6枚作成。さらにグループ化しておきます。



鱗を魚の上に配置し、グループ化、さらに魚を縦位置に回転させます。



魚の大きさを整え、右手を左右回転させて、魚を持たせます。さらに右手を「最前面」に変更して完成です。



首をかしげさせると表情が出て可愛さを表現できます。耳の重なり、目の大きさ、顔の角度などを調整して仕上げます。いろいろ、ポーズを変えてみましょう。最後に、すべてをグループ化しておきましょう。

例)





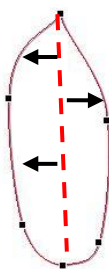
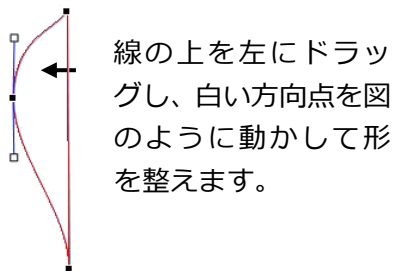
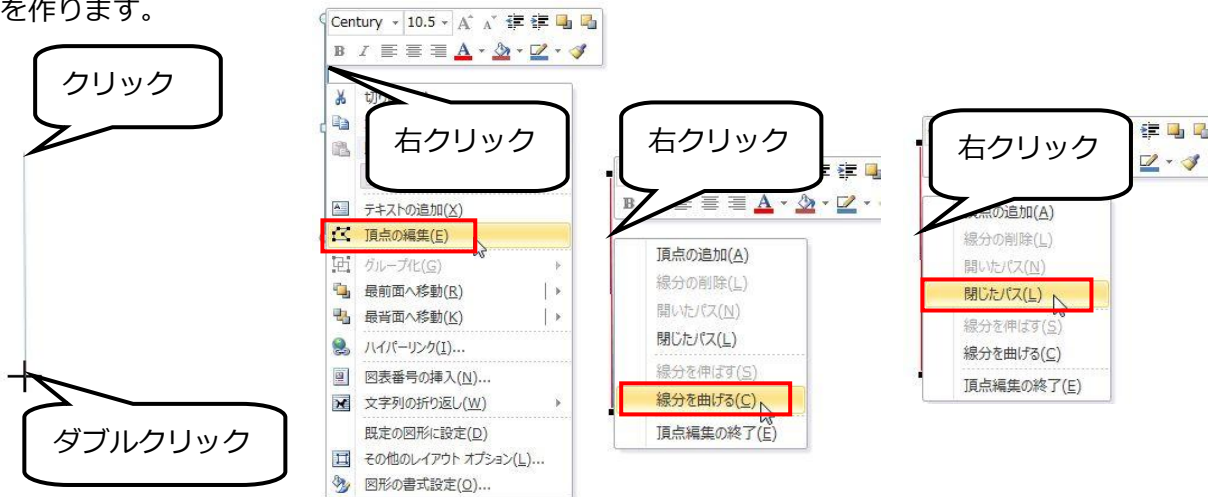
## 4. チューリップのバースデーカード

### (1) チューリップ・花

チューリップの花は、曲線を使って描き始めます。



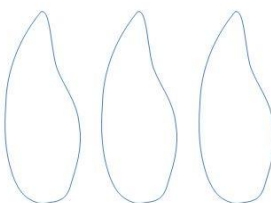
直線を引き、右クリックし、メニューから「頂点の編集」「線分を曲げる」「閉じたパス」で花弁を作ります。



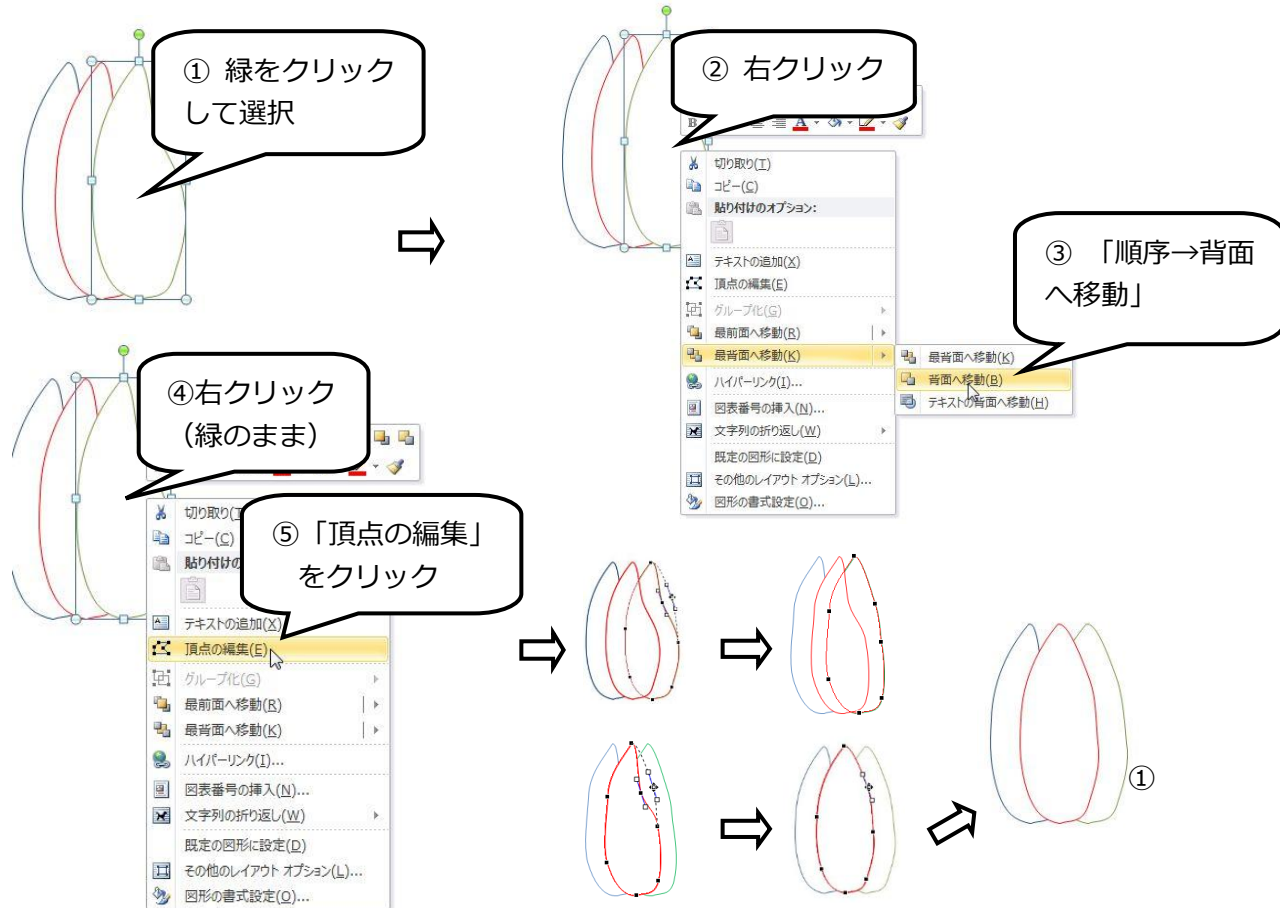
最終的にこのような、花弁の形にします。



さらに、コピーして、3枚にします。

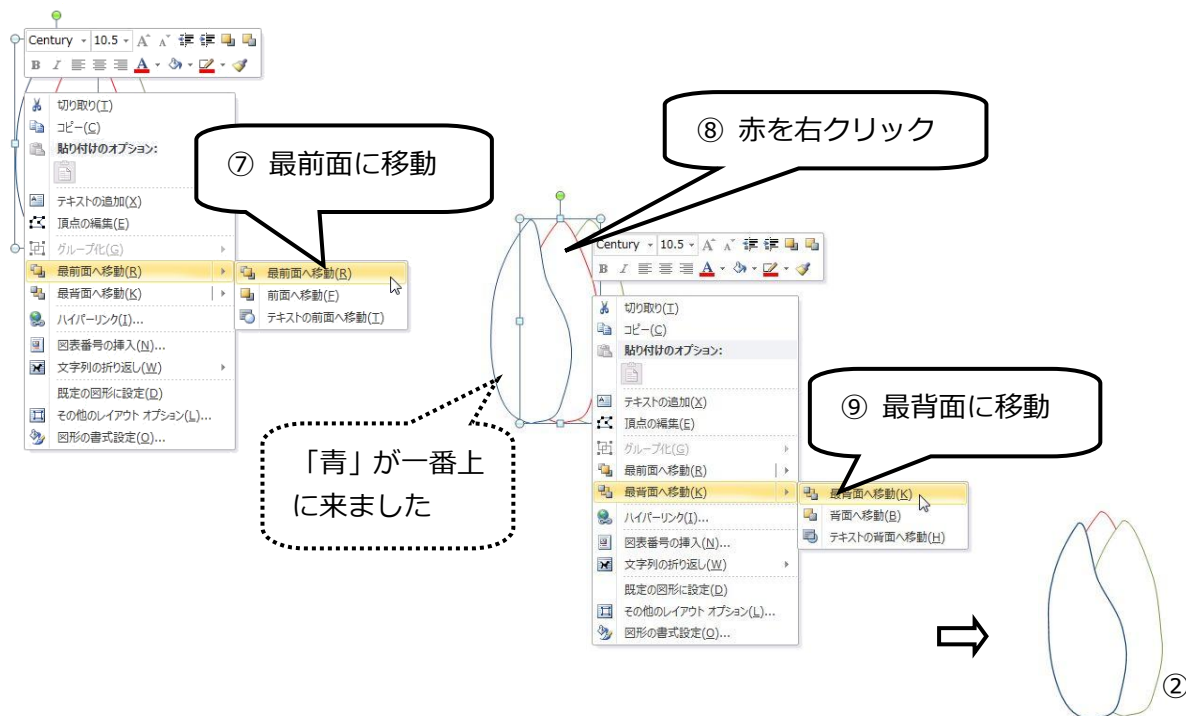


(ここでは、わかりやすくするために花卉の線をそれぞれ色を変えて説明しています)



2 つ目の花を作るため、①をコピーして 2 つに増やしておきます。  
片方の、青の花弁をクリックして、最前面に配置します。

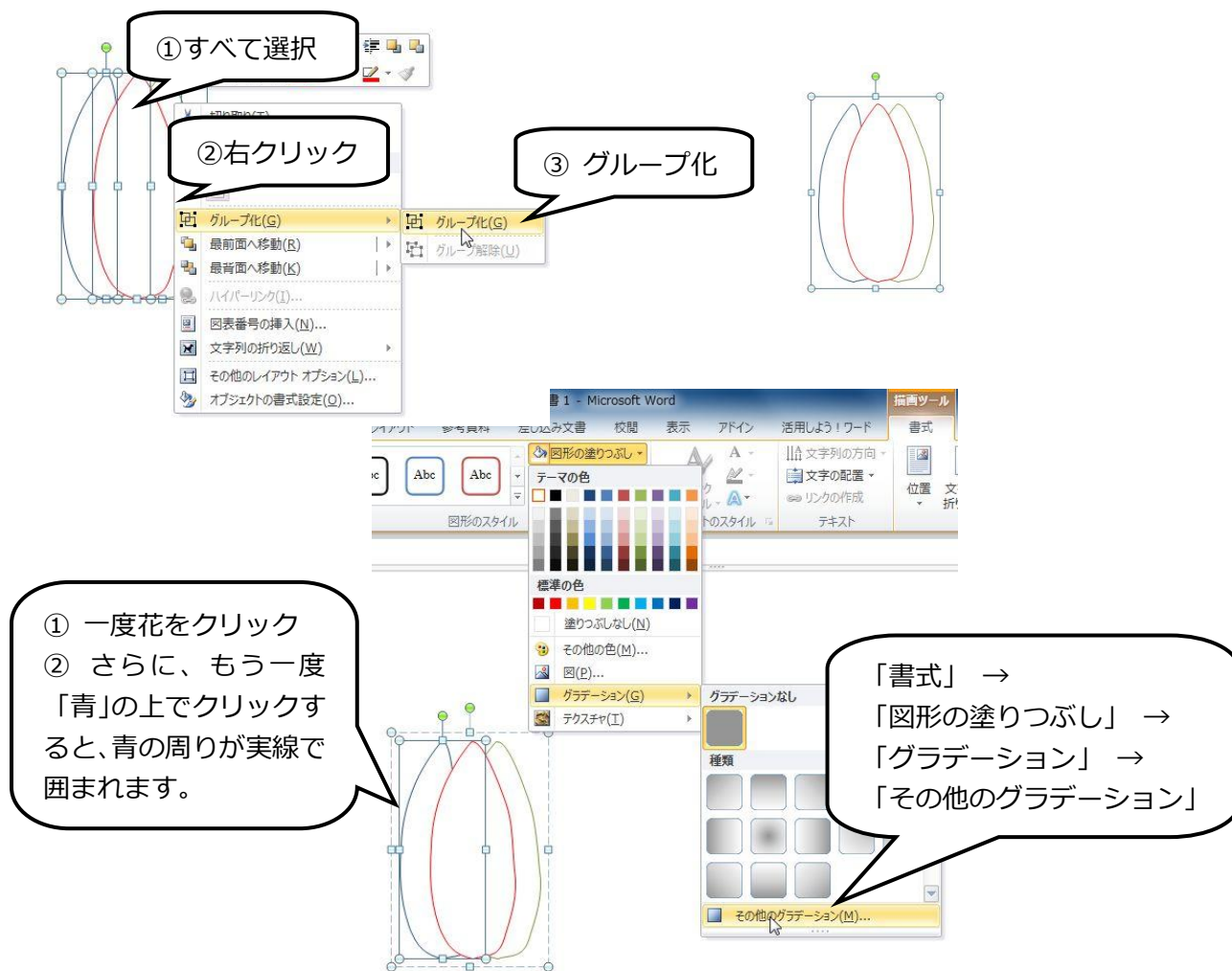
⑥ 緑と赤を、図のように頂点を移動させて花びらの形を少し丸く変化させます。  
1 つ目の花①が完成しました。



①と②の二つの花が完成しました。

まず、①の花に色をつけます。

まず、3枚の花弁がばらばらにならないように、2つの花をそれぞれグループ化しておきます。

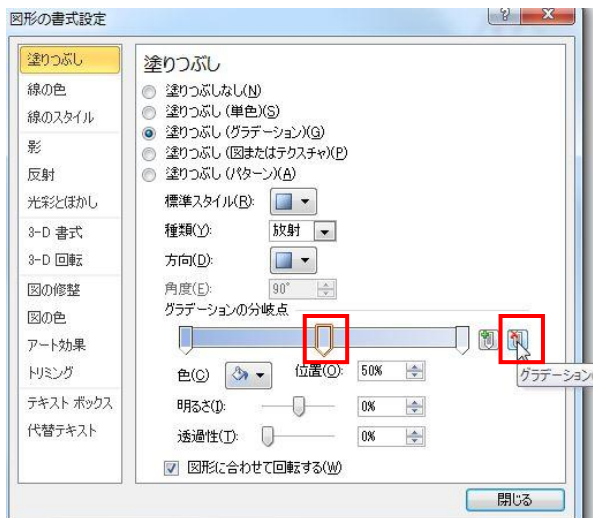


①の花弁…

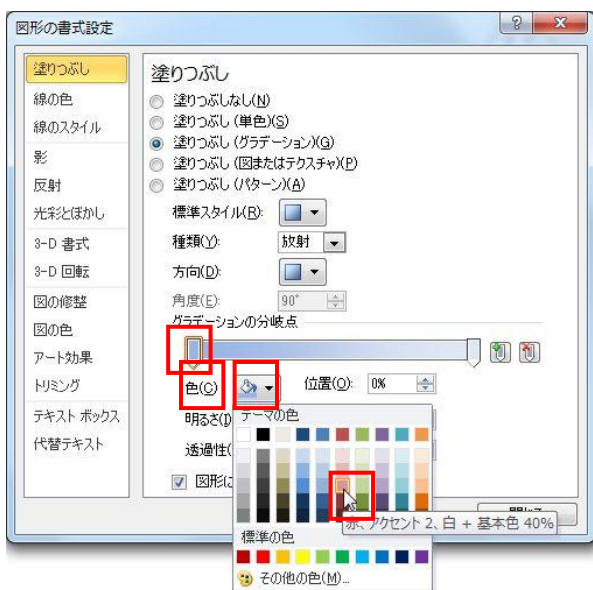
花の色はすべて同色、明るさを一番明るく設定し、花弁の下が濃くなるようにバリエーションを選択します。



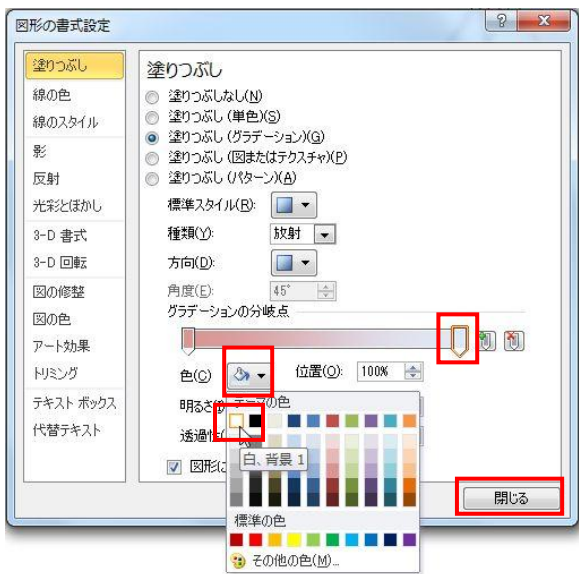
- ①「塗りつぶし(グラデーション)」を選択
- ②「種類」を「放射」に設定
- ③「方向」を「左下隅から」に設定。



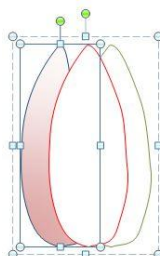
④ グラデーションの分岐点の中央点があれば削除します。



④ 左の分岐点 1 をクリック  
⑤ 「色」の▼をクリックして「赤、アクセント 2、白 + 基本色 40%」を選択。

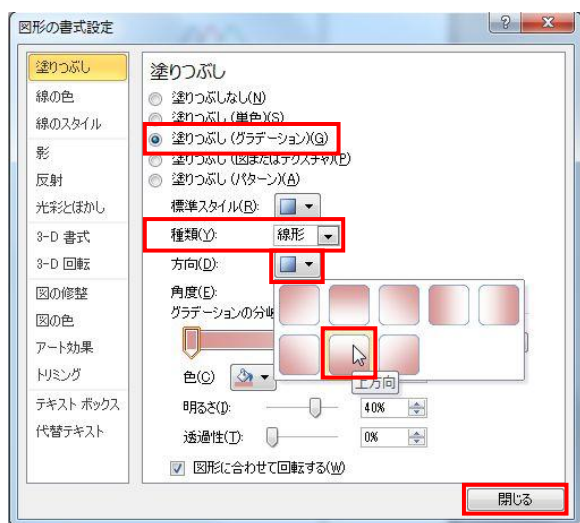


⑥ 右の分岐点 2 をクリック  
⑦ 「色」の▼をクリックして「白」を選択。  
⑧ 「閉じる」

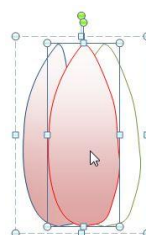


青い線の花弁にグラデーションがつけました。

真ん中の赤い線で囲まれた花弁をクリックして、「書式→図形の塗りつぶし→グラデーション→その他のグラデーション」をクリックして、再び「図形の書式設定」を開きます。



- ①「塗りつぶし(グラデーション)」を選択。
- ②「種類」の「線形」を選択。
- ③「方向」から「上方向」を選択。
- ④「閉じる」

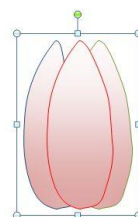


赤い線の花弁にグラデーションがつけました。

同様にして、緑の線で囲まれた花弁をクリックして、「書式→図形の塗りつぶし→グラデーション→その他のグラデーション」をクリックして、再び「図形の書式設定」を開きます。



- ①「塗りつぶし(グラデーション)」を選択。
- ②「種類」の「放射」を選択。
- ③「方向」から「右下隅から」を選択。
- ④「閉じる」



緑の花弁にグラデーションがつけました。

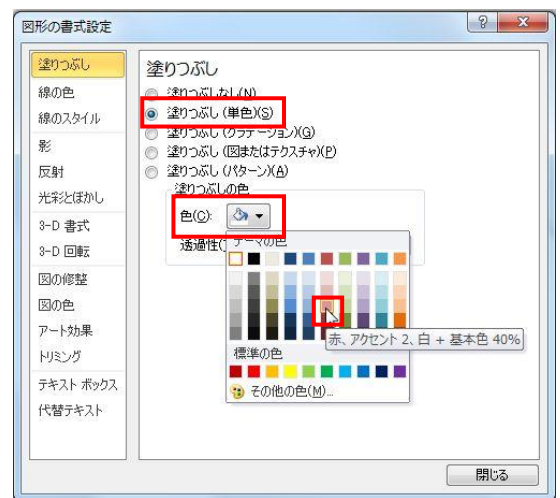
さらに、線の色をすべて「白、背景、黒+基本色 25%」に設定します。



同じように、もう一つの花も着色しまゝ。

㊦の花弁…右下対角線

㊩の花弁…単色の塗りつぶし

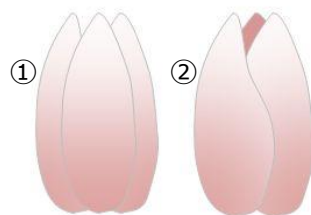


㊧の花弁…右上対角線

さらに、線の色を「25%灰色」にします。

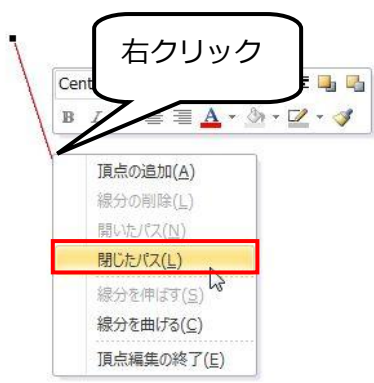
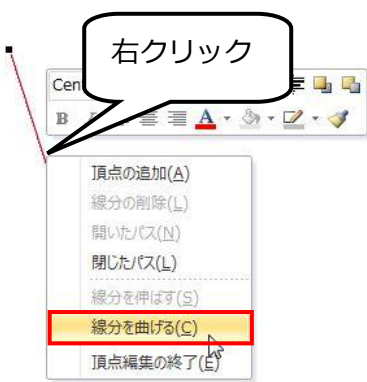
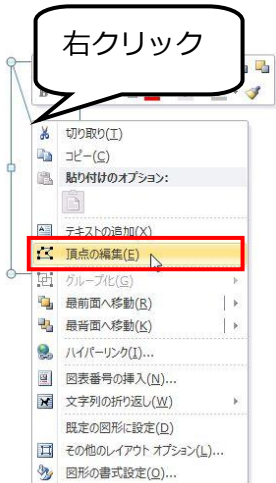
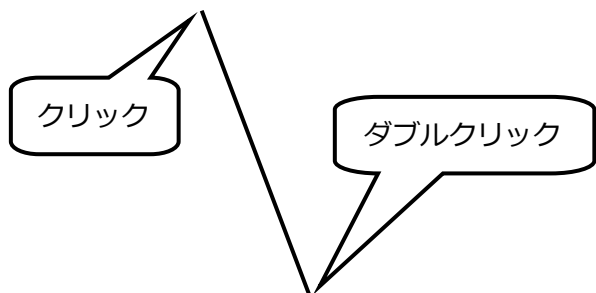
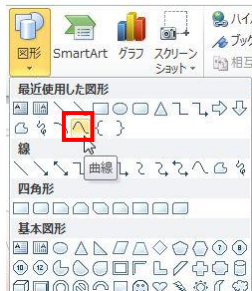


このように色がつきます。



(2) チューリップ・葉と茎

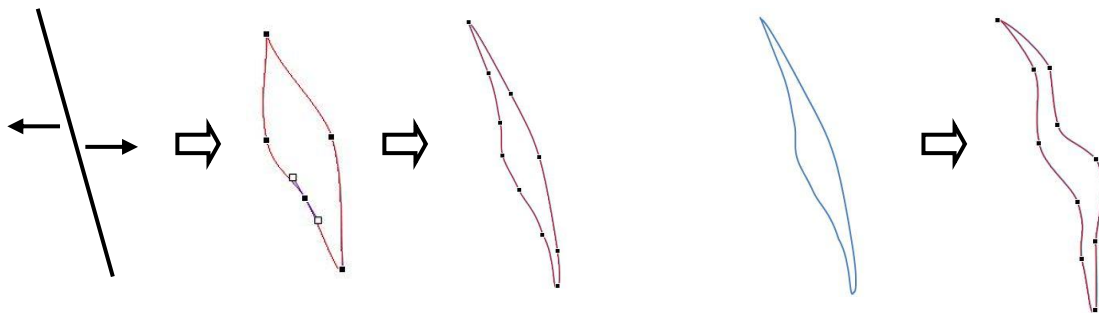
葉も、曲線で描きます。



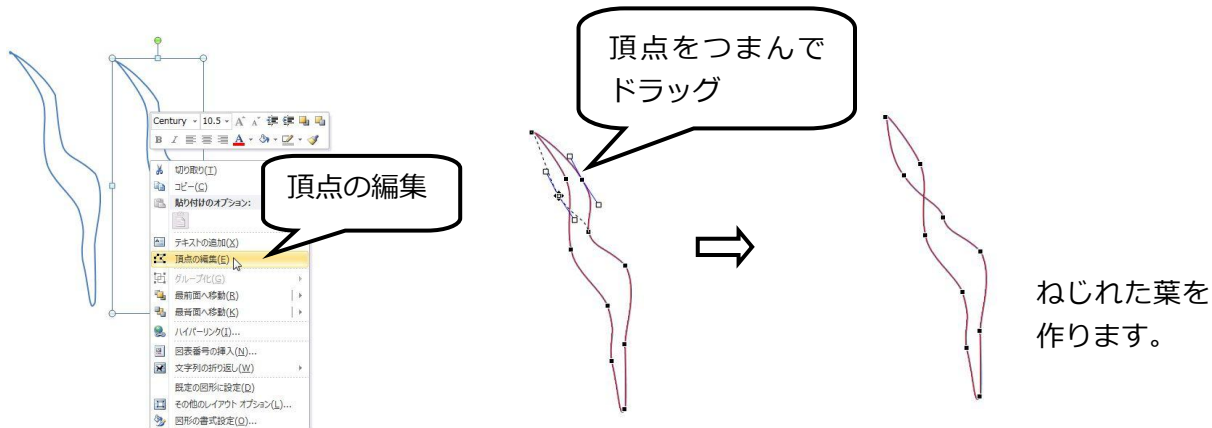
葉のパターン1

頂点をドラッグしながら、葉の形を整えます。

パターン1をコピーして2つにし、そのうち1つから、葉のパターン2を作成します。



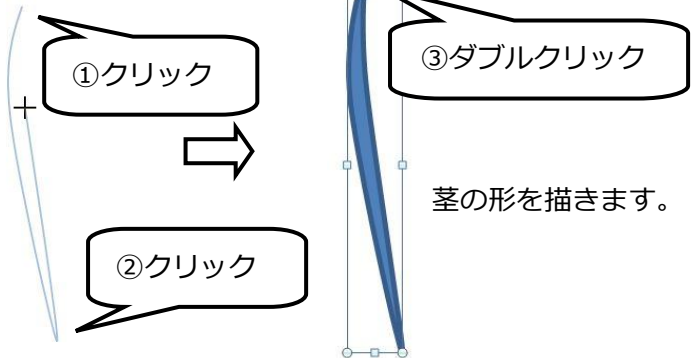
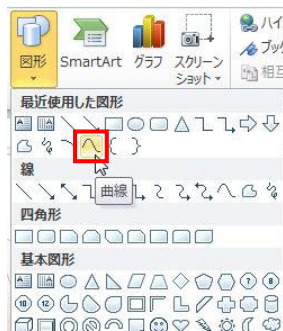
さらに、パターン2をコピーして2つにし、そのうち一つを「頂点の編集」で頂点を表示させます。



3種類の葉が完成しました。3枚とも白で塗りつぶしておきます。

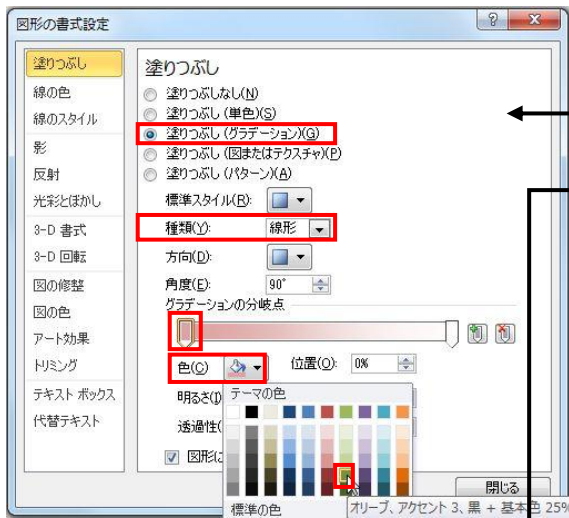


茎も、曲線で作成します。

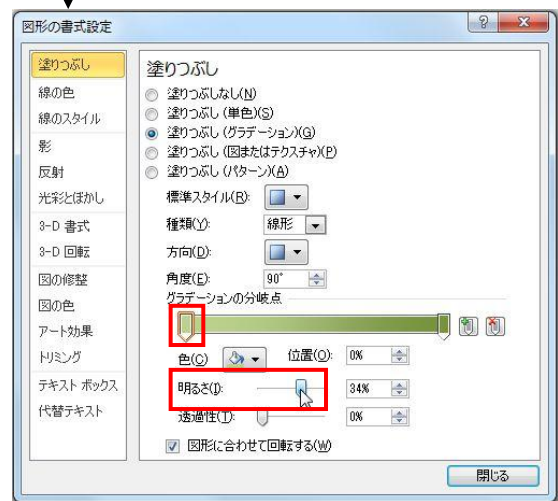
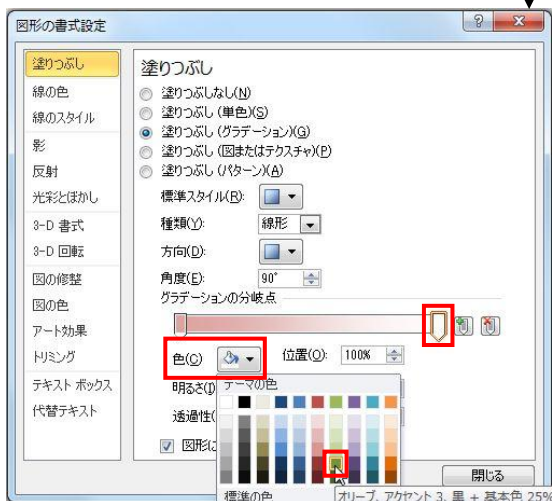


茎に色を塗ります。

「書式→図形の塗りつぶし→グラデーション→その他のグラデーション」から…

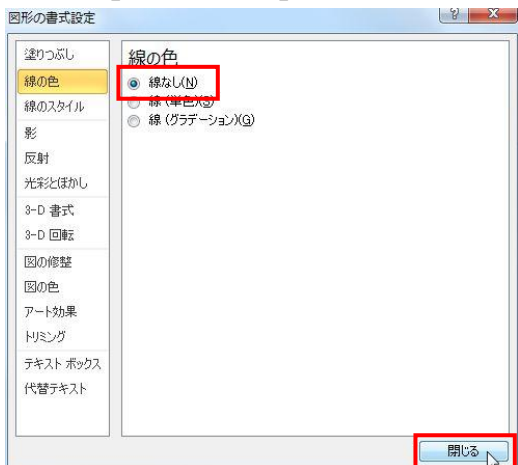


- ① 「塗りつぶし(グラデーション)」を選択。
- ② 「種類」は「線形」
- ③ 「分岐点 1」をオリーブに。
- ④ 「分岐点 2」もオリーブに。
- ⑤ 「分岐点 1」をクリックして、明るさを明るい方へ設定。
- ⑥ 左の欄の「線の色」をクリック。



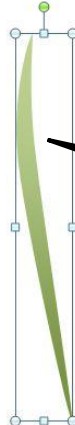


「線の色」を「線なし」にします。



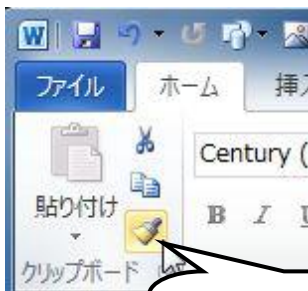
茎の塗りの書式を、葉にコピーします。

茎をクリックして選択し…



① 茎をクリックして選択

「ホーム」から「書式のコピー」をクリックして、葉の上にカーソルを持っていくと、カーソルの右側に刷毛が表示されますのでそのまま葉の上でクリックします。葉が、茎と同じ塗りつぶし効果で、塗りつぶされます。



② 「書式のコピー」をクリック



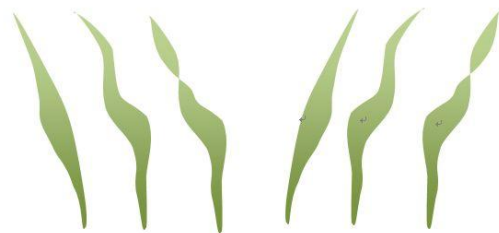
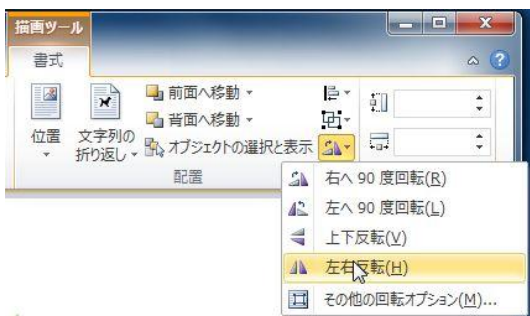
③ 葉の上でクリック

③ 葉が茎と同じ色で塗りつぶされます。

■ワンポイント■  
3枚に同じ色を塗るときは、「書式のコピー」をダブルクリックすると、繰り返しコピーできます。

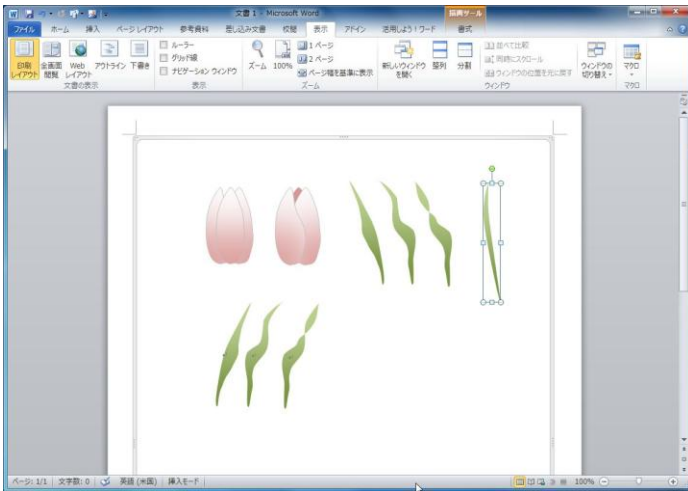
3枚の葉すべて、書式のコピーで同じ色に塗りつぶします。

左右反転の葉も作っておきましょう。  
葉を3枚ともすべて選択し、CTRL キーを押しながらドラッグします。コピーされた3枚を範囲指定し、「書式→左右反転」を選択します。



(3) チューリップ・花束

これですべての素材がそろいました。



花は茎をつけてグループ化しておきます。



花と茎をグループ化したものを 7~8 本作成して、花束にします。

1 本一本に、少しずつ回転させたり小さくしたり変化をつけて表情を出します。



このようにして、  
花束を作ります。



曲線で、花束を囲むように描きます。



描いたセロファンに薄く色をつけます。

② 「書式」 → 「図形の塗りつぶし」 → 「その他の色」

① 図を選択

① 白をクリック

② 60%に指定

「線の色」は「25%灰色、太さを 0.75pt」に設定し、さらにセロファンを最背面に配置します。

① セロファンをクリックして選択

② 右クリック

③ 最背面へ移動

セロファンが背面に回り、チューリップがはっきり見えます。

① セロファンの上で右クリック

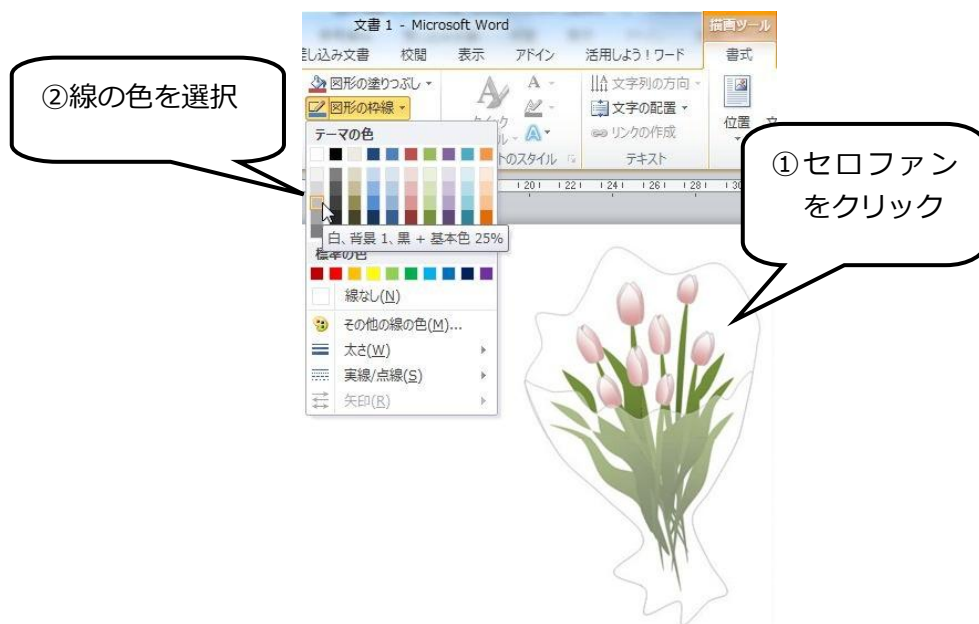
② コピーをクリック

2つのセロファンをぴったり重ねます。

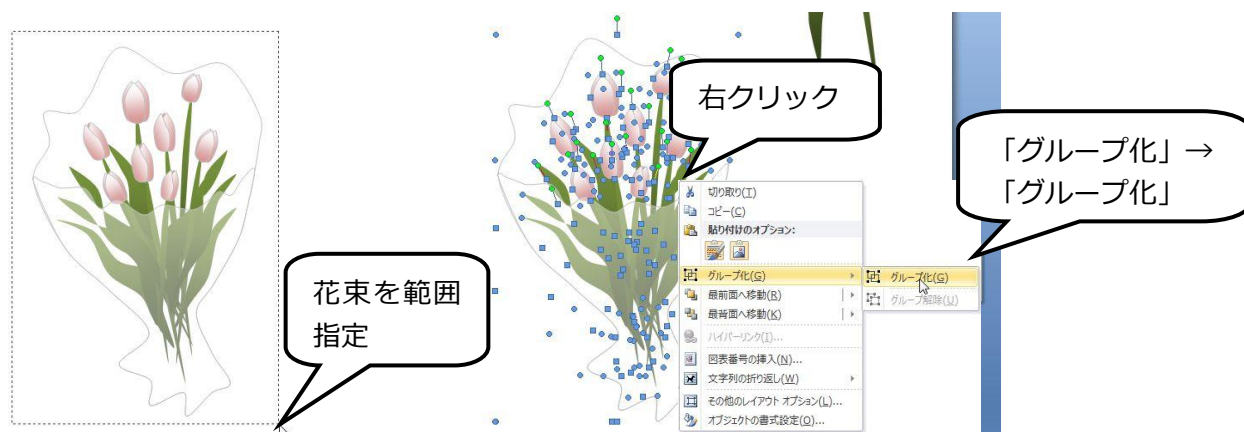
チューリップより手前に来るセロファンを変形します。



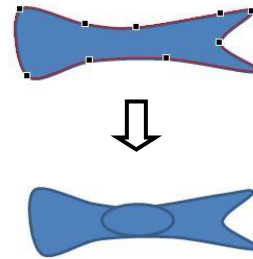
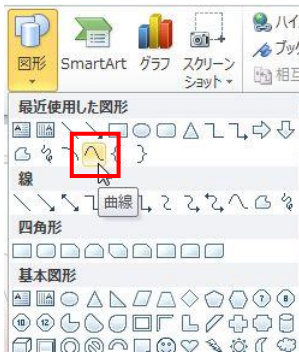
セロファンの線の色を、「白、背景 1、黒 + 基本色 25%」に設定します。



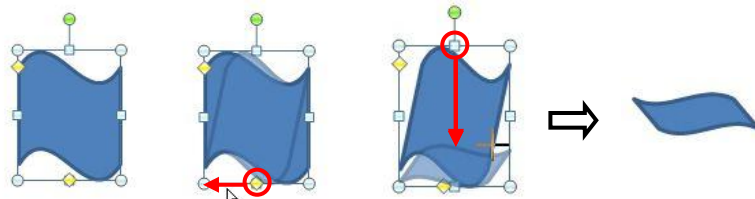
最後に、選択ツールで花束全体を範囲指定して、グループ化しておきます。



花束にリボンをあしらいます。 リボンは、曲線と楕円を組み合わせて形作ります。



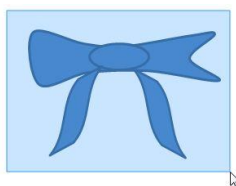
「星とリボンの「大波」を変形してリボンの下の部分を2つ、作ります。



コピーして2つに増やし一方は左右反転させ、回転してリボンの下に組み合わせます。



リボンの色を「薄い黄色」に変更します。



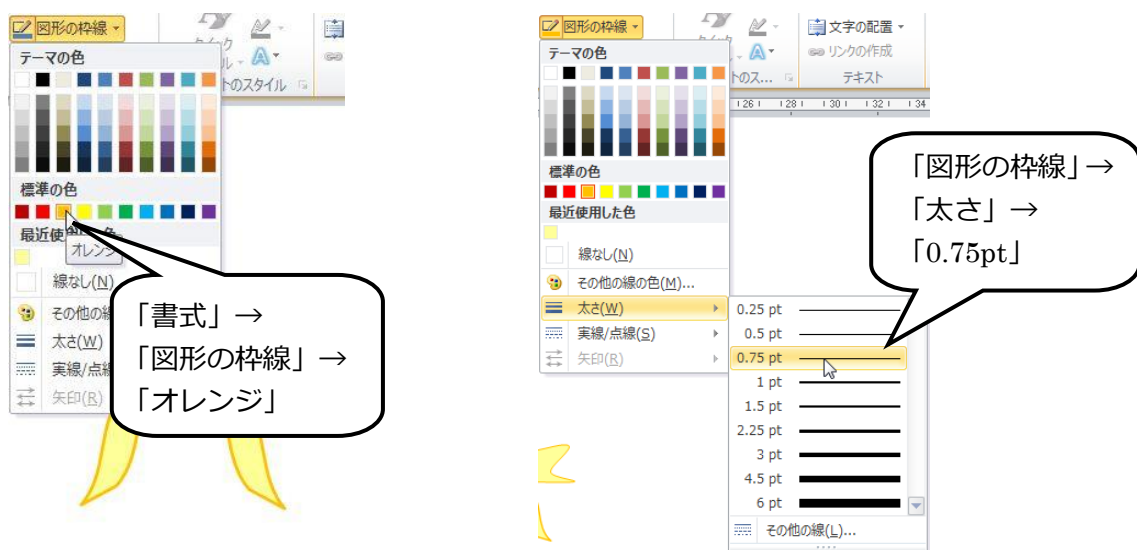
リボンを範囲指定して選択し...

「書式」 →  
「図形の塗りつぶし」 →  
「その他の色」

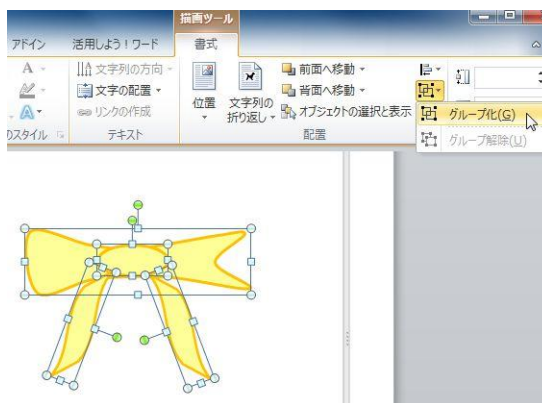


薄い黄色を指定します。

さらに、線の色も「オレンジ」に変更し、さらに線の太さを 0.75pt にします。



塗りと線の色を変更したら、リボンをグループ化しておきます。

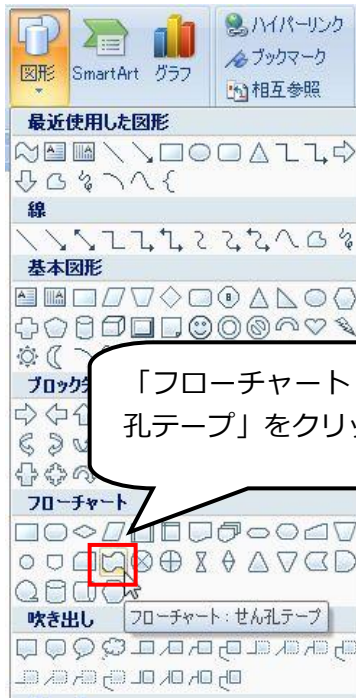


このリボンを、花束の上に配置して「チューリップの花束」が完成です。

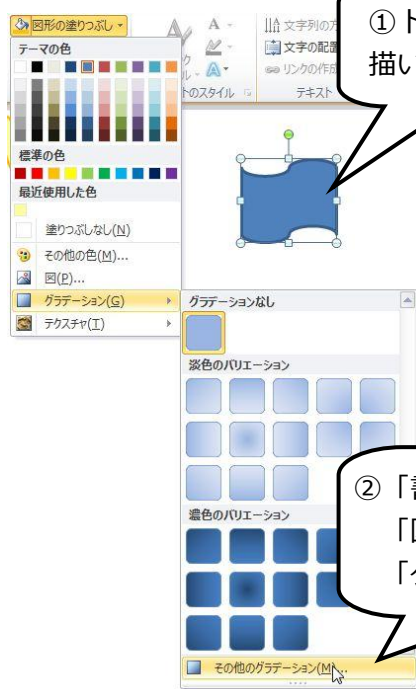


(4) バースデーカード

最後に、バースデーカードに仕上げてみましょう。

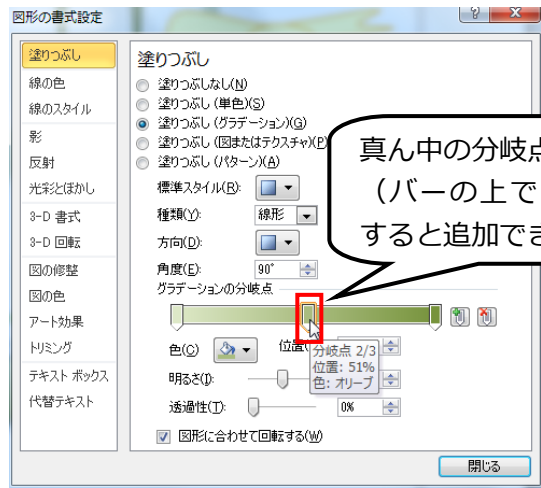
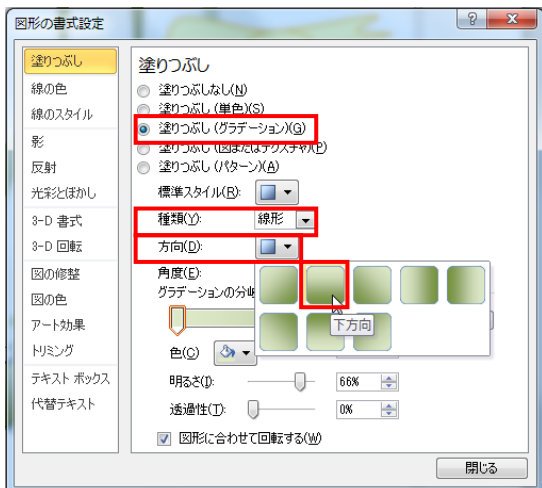


「フローチャート せん孔テープ」をクリック

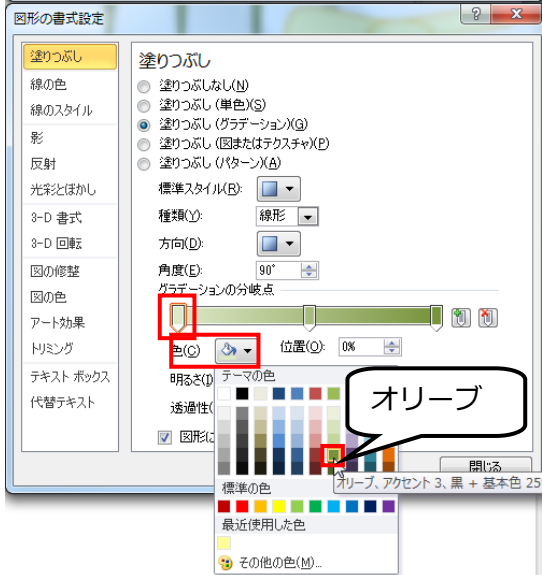


① ドラッグして描いた状態で…

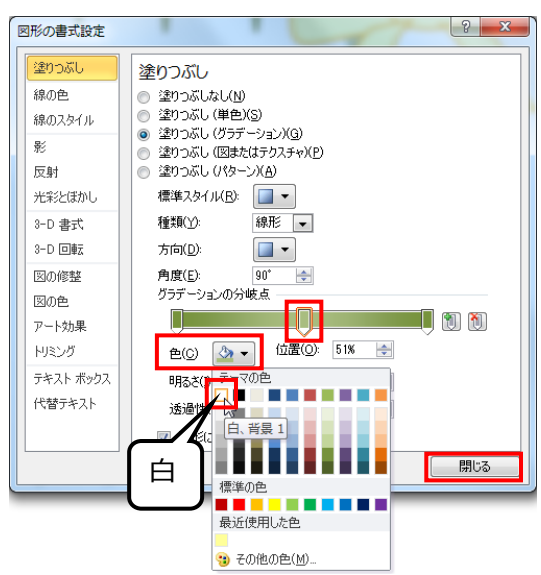
② 「書式」→「図形の塗りつぶし」→「グラデーション」



真ん中の分岐点を追加。(バーの上でクリックすると追加できます。)

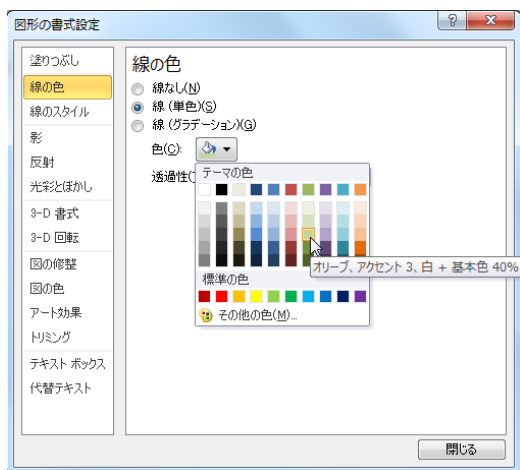


オリーブ

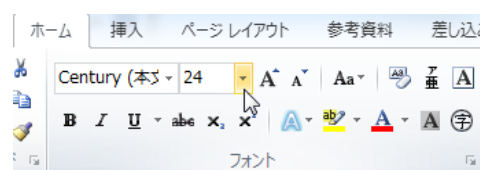


白

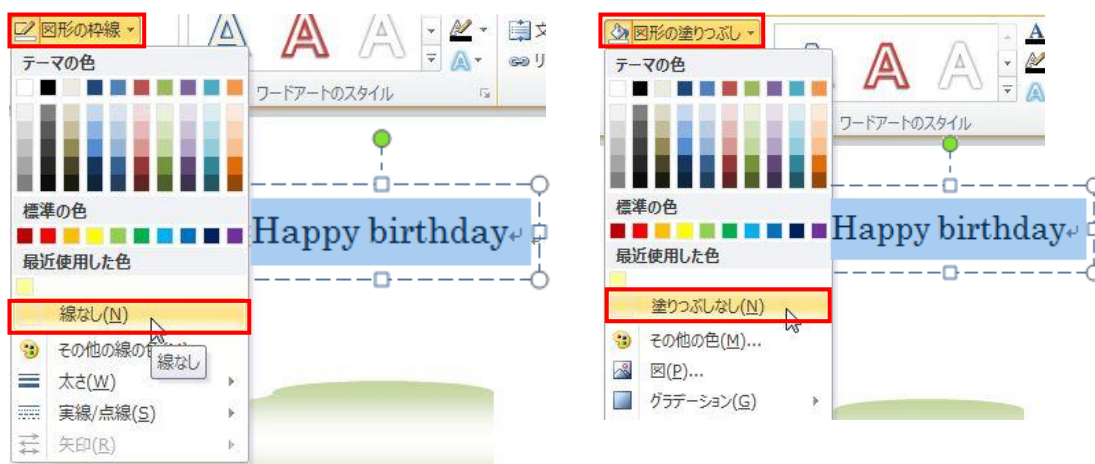
さらに、線の色も、塗りと同じように、薄い緑に設定します。



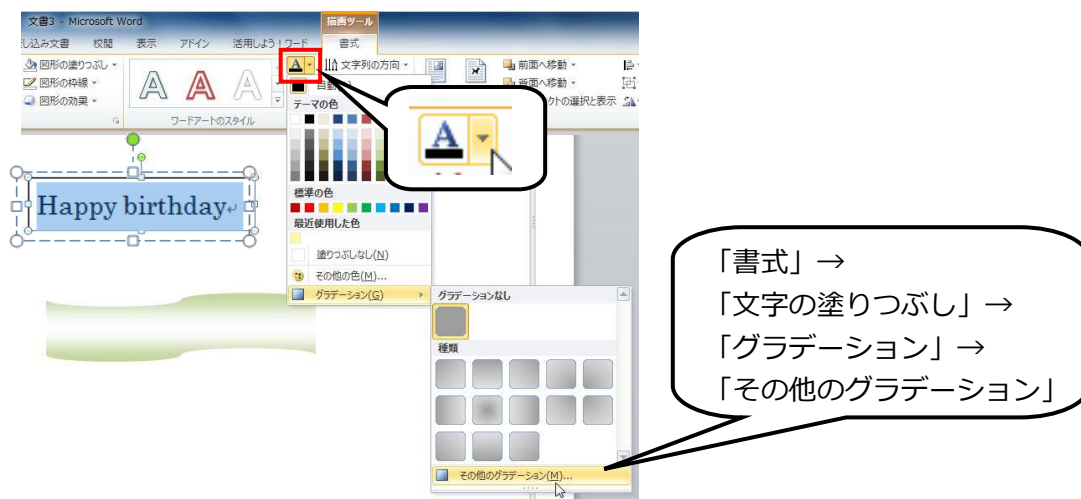
テキストボックスで、「Happy Birthday」と文字を入力し、「ホーム」で 24pt に設定します。



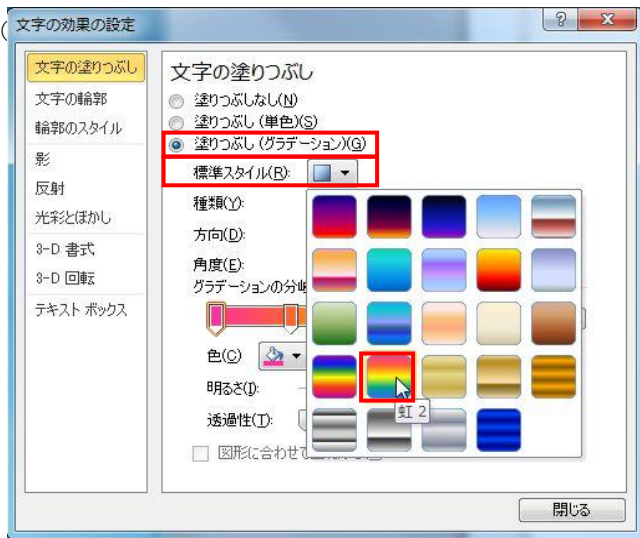
テキストボックスの枠線を「線なし」にして、さらに「塗りつぶしなし」に設定します。



文字を範囲指定して、「文字の塗りつぶし効果」を施します。



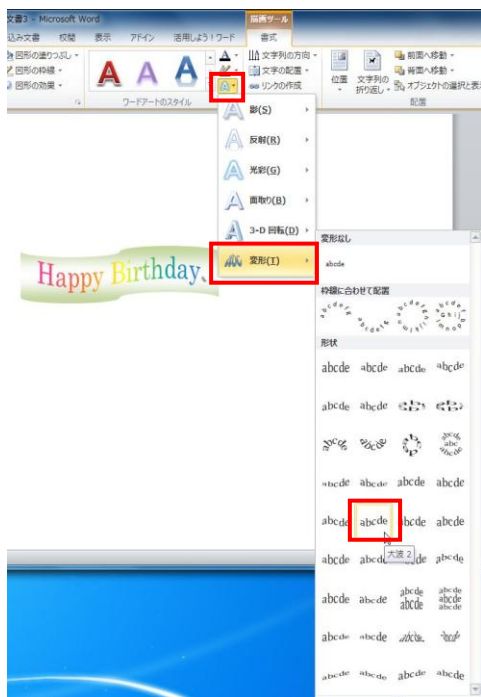




- ① 「塗りつぶし(グラデーション)」を選択
- ② 「標準スタイル」の▼をクリック
- ③ 「虹2」を選択



- ③ 「方向」の▼をクリック
- ④ 「右方向」をクリック
- ⑤ 「閉じる」




「描画ツール」→「文字の効果」→「変形」から「大波 2」を選択。

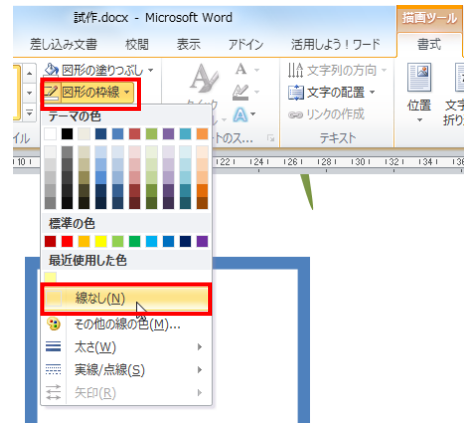
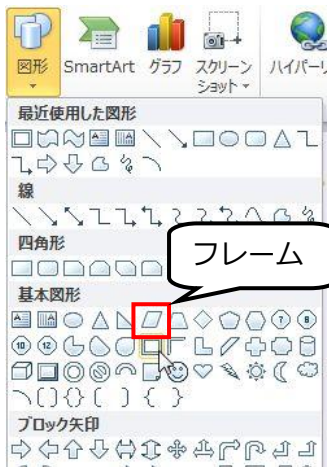
Happy Birthday

先に作成したリボンの上に配置します。

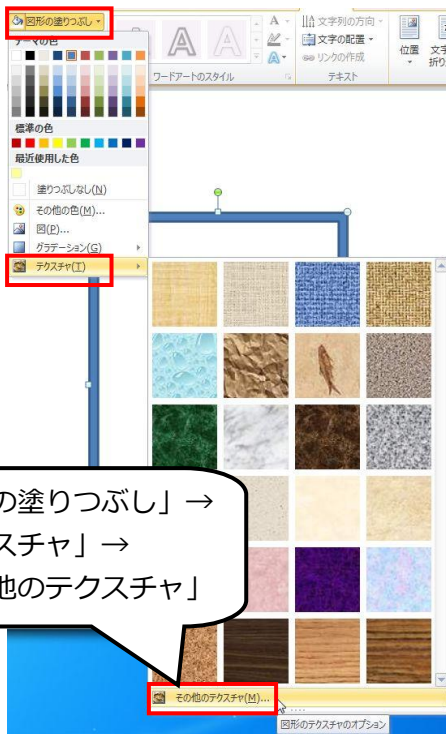


バースデーカードの周りの線を描きます。

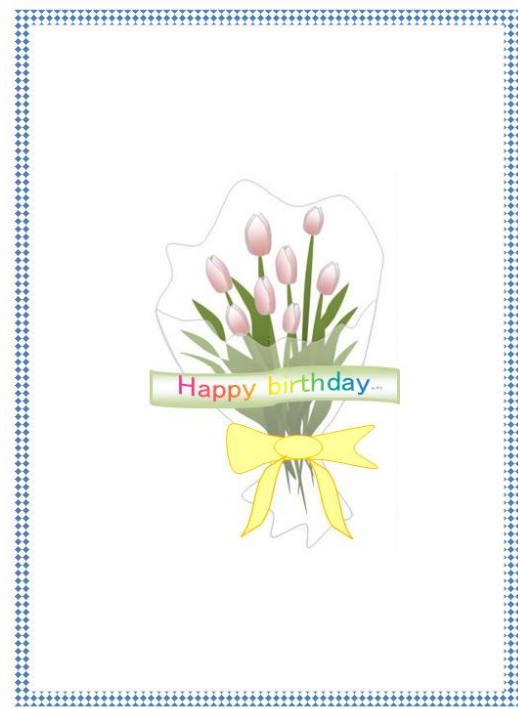
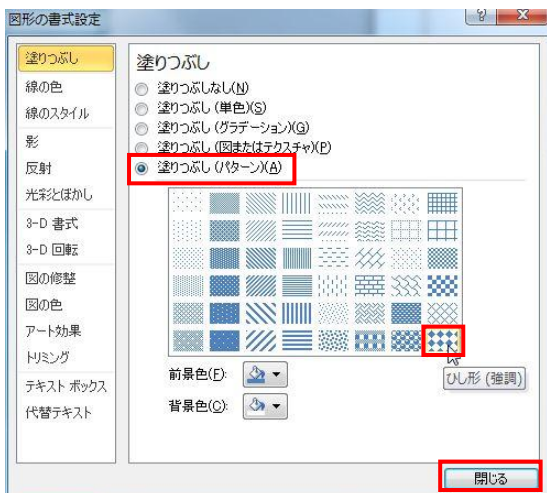
「図形」から「フレーム」を選択します。



まず、枠の線を「線なし」にしておきます。



「図形の塗りつぶし」→  
「テクスチャ」→  
「その他のテクスチャ」



チューリップの花束のバースデーカード完成です。

描いた絵は、さまざまところで利用が可能です。



年賀状や、カレンダー、手帳、プリントしてオリジナルのTシャツやバッグを作っても楽しいでしょう。

また、うちわやレターセットにオリジナルの絵を入れて楽しむこともできますし、メモ帳やネームタグに、ちょっとしたさし絵を入れてもおしゃれです。

パソコンで作成した絵ですから、何枚でも、いくつでも作ることができるのも魅力です。手軽な Word を使ったお絵かきと、オリジナルのグッズを楽しんでみてはいかがでしょうか。

Microsoft、Microsoft ロゴ、Internet Explorer、Windows、Windows Vista、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。

その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です

制作・著作：マイクロソフト株式会社

無断使用・複製・転載を禁止します